

# West Santa Ana Branch Transit Corridor

EIS/EIR草稿：エグゼクティブサマリー



Metro®



**WEST SANTA ANA BRANCH TRANSIT  
CORRIDORプロジェクト**

---

---

**EIS/EIR**草稿：  
エグゼクティブサマリー

2021年7月

---

## 環境影響評価書／環境影響報告書草稿

担当機関：アメリカ合衆国運輸局連邦交通局、ロサンゼルス郡都市圏交通局

州クリアリングハウス番号**2017061007**

実行案タイトル：**West Santa Ana Branch Transit Corridor**プロジェクト

本書類に関するコメントや質問の書簡送付先：

Meghna Khanna  
Project Manager  
Los Angeles County Metropolitan  
Transportation Authority  
One Gateway Plaza, M/S 99-22-4  
Los Angeles, CA 90012  
電話：(213) 922-6262  
[wsab@metro.net](mailto:wsab@metro.net)

Charlene Lee Lorenzo  
Director  
Federal Transit Administration  
Region 9  
Los Angeles Office  
888 S. Figueroa Street,  
Suite 440  
Los Angeles, CA 90017  
電話：(213) 202-3952

Rusty Whisman  
Transportation Program  
Specialist  
Federal Transit  
Administration Region 9  
888 S. Figueroa Street,  
Suite 440  
Los Angeles, CA 90017  
電話：(213) 202-3956

---



## 目次

<b>S</b>	<b>エグゼクティブサマリー</b> .....	<b>S-1</b>
S.1	プロジェクトの目的および需要.....	S-1
	S.1.1 プロジェクトの目的.....	S-1
	S.1.2 プロジェクトの需要.....	S-1
S.2	検討中の代替案 / プロジェクト概要.....	S-1
	S.2.1 非建設代替案.....	S-1
	S.2.2 建設代替案.....	S-3
S.3	交通手段.....	S-4
S.4	環境影響の範囲と概要.....	S-10
S.5	第4条(f)の評価.....	S-70
S.6	代替案の評価.....	S-70
S.7	市民へのアウトリーチ、関係諸機関との協議および調整.....	S-72
S.8	議論対象となっている領域と解決が求められる問題.....	S-73
	S.8.1 議論対象となっている領域.....	S-73
	S.8.2 解決が求められる問題.....	S-73

## 表

表S.1.	建設代替案のプロジェクト構成要素の概要.....	S-3
表S.2.	交通への潜在的影響と緩和措置.....	S-6
表S.3.	運営上の環境影響と緩和措置.....	S-11
表S.4.	建設上の環境影響と緩和措置.....	S-42
表S.5.	成長誘導影響、累積影響、環境正義影響と緩和措置.....	S-66
表S.6.	代替案の便益評価.....	S-71

## 図

図S-1.	WSAB Transit Corridor調査対象地区.....	S-2
図S-2.	WSAB Transit Corridor建設代替案.....	S-5

## 頭字語と略語

頭字語	定義
CEQA	California Environmental Quality Act (カリフォルニア州環境品質法)
CFR	Code of Federal Regulations (連邦規則集)
CPUC	California Public Utilities Commission (カリフォルニア州公共事業委員会)
EIR	environmental impact report (環境影響報告書)
EIS	environmental impact statement (環境影響評価書)
FTA	Federal Transit Administration (連邦交通局)
LPA	Locally Preferred Alternative (地域推奨案)
LRT	light rail transit (新型路面電車)
Metro	Los Angeles County Metropolitan Transportation Authority (ロサンゼルス郡都市圏交通局)
MSF	maintenance and storage facility (保守貯蔵施設)
MWD	Metropolitan Water District (メトロポリタン水道局)
NEPA	National Environmental Policy Act (国家環境政策法)
プロジェクト (本プロジェクト)	West Santa Ana Branch Transit Corridorプロジェクト
SHPO	State Historic Preservation Office (州歴史保全局)
UP	Union Pacific (ユニオン・パシフィック鉄道)
WSAB	West Santa Ana Branch (ウェスト・サンタ・アナ地区)

## S エグゼクティブサマリー

連邦交通局（FTA）およびロサンゼルス郡都市圏交通局（Metro）は、ロサンゼルス郡内の歴史的由緒あるウェスト・サンタ・アナ地区（WSAB）路線の交通プロジェクトであるWSAB Transit Corridorプロジェクト（「本プロジェクト」）を後援しています。

### S.1 プロジェクトの目的および需要

#### S.1.1 プロジェクトの目的

本プロジェクトの総合的な目的は、高度で信頼性の高い交通サービスを提供し、地区内を移動する居住者、労働者、観光客の将来的な移動性の需要に対応することです。新規交通サービスは、これまで不十分であった交通手段への依存性が高いコミュニティの移動性と接続性の強化を促すとともに、本投資による地元および周辺地域の関連交通網における移動時間の相対的短縮を実現し、将来的に確固たる雇用促進と人口増加を促進します。

#### S.1.2 プロジェクトの需要

ロサンゼルス郡の南東に位置する調査対象地区は約98平方マイルにわたり、独立した20もの都市を内含します（図

S-1）。調査対象地区内には現在140万人の居住者と618,500件の雇用が存在し、2042年には居住者が160万人に、雇用件数は746,000に達すると予測されます。調査対象地区内はバスが運行しており、そのほとんどが交通渋滞の著しいフリーウェイと幹線道路を通る路線です。今後20年間には調査対象地域の人口と雇用件数の大幅な増加が見込まれるため、道路網には一層の混雑が予想され、公共交通サービスの信頼性はさらに低下するものと思われる。

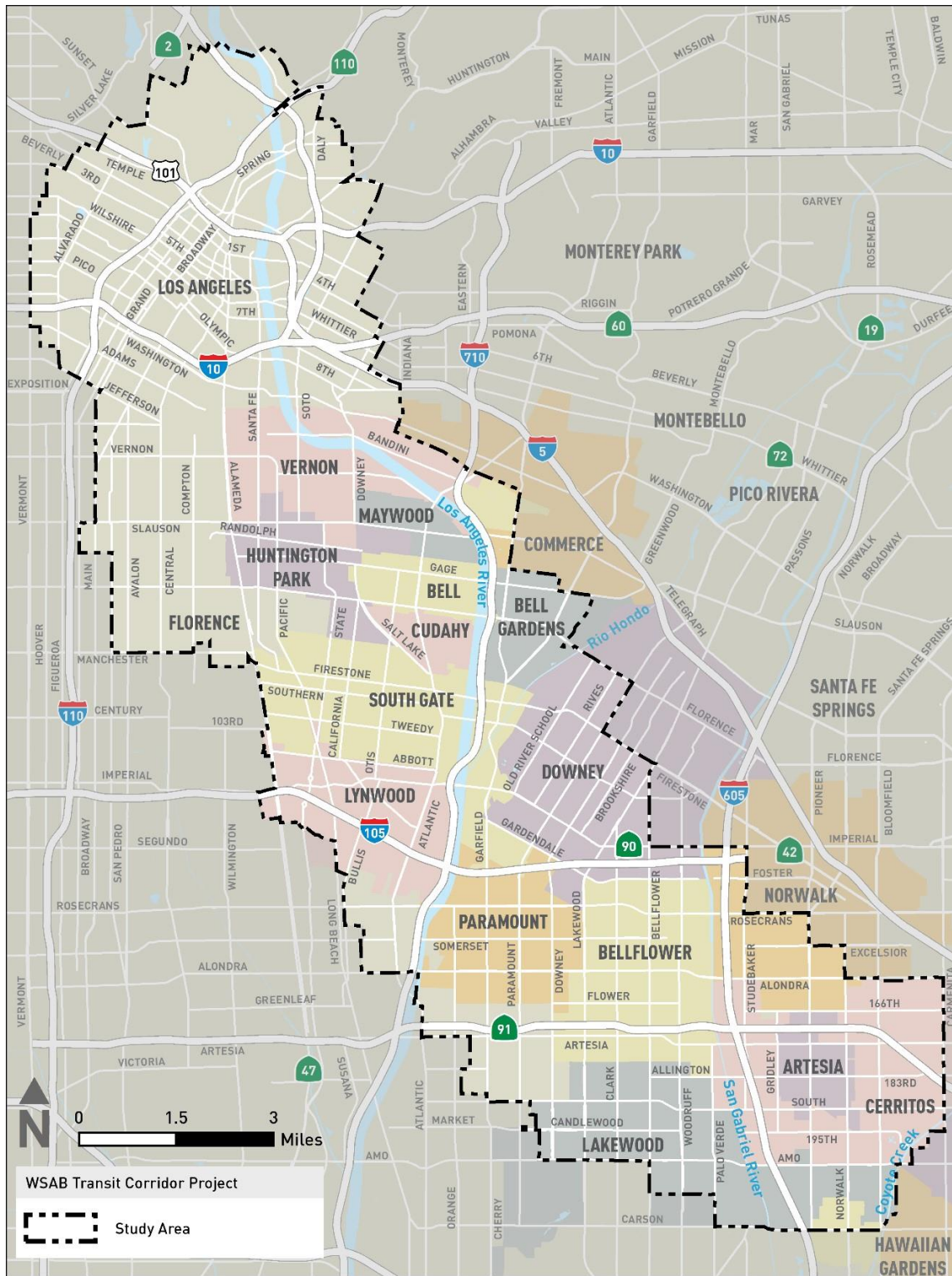
### S.2 検討中の代替案／プロジェクト概要

Metroは、現在検討中でありこの環境影響評価書／環境影響報告書（EIS/EIR）草稿に記載されている4つの建設代替案および非建設代替案を特定しました。EIS/EIR草稿で評価された建設代替案の内容や資金調達状況を考慮した上で、Metroは代替案3をスタッフ推奨案として表明しました。

#### S.2.1 非建設代替案

非建設代替案はバックグラウンドとなる交通網を提示し、これに照らし、建設代替案の影響が国家環境政策法（NEPA）に従って特定・評価されます。非建設代替案には、本プロジェクトは含まれません。

図S-1.WSAB Transit Corridor調査対象地区



出典：Metroの代理で2020年に作成

## S.2.2 建設代替案

本EIS/EIR草稿では、4つの建設代替案および2つの設計オプション、2つの保守貯蔵施設（MSF）用地オプションの評価を行っています。

- 代替案1：ロサンゼルス・ユニオン駅（LAUS）からパイオニア駅
  - － 設計オプション1：ロサンゼルス・ユニオン駅（LAUS）からメトロポリタン水道局（MWD）
  - － 設計オプション2：リトルトーキョー駅の追加
- 代替案2：7thストリート／メトロセンター駅からパイオニア駅
- 代替案3：スローソン駅／Aライン（ブルー）からパイオニア駅（スタッフ推奨案）
- 代替案4：I-105/Cライン（グリーン）からパイオニア駅
- パラマウントMSF用地オプション
- ベルフラワーMSF用地オプション

表S.1は各建設代替案の構成要素を概説し、図S-2は建設代替案における路線と駅の配置を示しています。

表S.1.建設代替案のプロジェクト構成要素の概要

プロジェクト構成要素 代替案	建設代替案			
	代替案1	代替案2	代替案3	代替案4
路線の長さ	19.3マイル	19.3マイル	14.8マイル	6.6マイル
駅の構造	11 高架3、地上6、 地下2 <sup>1</sup>	12 高架3、地上6 、地下3	9 高架3、地上6	4 高架1、地上3
駐車施設	5 (最大約2,795台 収容)	5 (最大約2,795 台収容)	5 (最大約2,795 台収容)	4 (最大約2,180 台収容)
地下、地上、高架各 部の距離	地下2.3マイル、 地上12.3マイル 、高架4.7マイル <sup>2</sup>	地下2.3マイル 、地上12.3マイ ル、高架4.7マ イル <sup>2</sup>	地上12.2マイル 、高架2.6マイ ル <sup>2</sup>	地上5.6マイル 、高架1.0マイ ル <sup>2</sup>
平面交差	31	31	31	11
立体交差	25	25	15	7
貨物路線との交差	10	10	9	2
フリーウェイとの交 差	6（フリーウェ イとの立体交差 3 <sup>3</sup> ： I-710、I- 605、SR-91）	6（フリーウェ イとの立体交 差3 <sup>3</sup> ： I-710、I- 605、SR-91）	4（フリーウェ イとの立体交 差3 <sup>3</sup> ： I-710、I- 605、SR-91）	3（フリーウェ イとの立体 交差3 <sup>3</sup> ： I-605、SR-91）

プロジェクト構成要素 代替案	建設代替案			
	代替案1	代替案2	代替案3	代替案4
河川との交差	3	3	3	1
無線塔	2	2	0	0
TPSS施設	22 <sup>1</sup>	23	17	7
MSF用地オプション <sup>4</sup>	2	2	2	2
MSFの資本費（2020年、ドル単位） <sup>5</sup>	85億～ 88億ドル	92億～ 95億ドル	49億～ 51億ドル	23億～ 26億ドル

出典：Metroの代理で2021年に作成

注：<sup>1</sup> 設計オプション2（リトルトーキョーの追加）では、代替案1に対しさらに地下駅1つとTPSS用地1か所を追加。

<sup>2</sup> 路線配置ごとの長さについては、残存する盛り土を地上部分とカウント。

<sup>3</sup> 新型路面電車の線路がフリーウェイ構造の下を通過。

<sup>4</sup> 保守貯蔵施設1つのみを建設。

<sup>5</sup>

費用範囲は、最低（バルフラワーMSF用地オプション適用時）から最高（パラマウントMSF用地オプション適用時）まで。費用範囲には設計オプション1が含まれる。設計オプション2の費用は含まれておらず、設計オプション1の場合と異なる。

MSF = 保守貯蔵施設、TPSS = 牽引変電所

建設代替案の営業時間は概ね1日22時間、週7日、午前4:00頃より午前2:00頃までとなります。

建設活動はおよそ6年の期間を要し、2022年に開始され2028年に終了する見込みです。営業収益の創出は2028年に開始されるものと予想されます。

### S.3 交通手段

本EIS/EIR草稿の第3章では、既存交通の状況および影響、プロジェクトメジャー、緩和措置（適用される場合）、また、緩和措置実施後における本プロジェクトの運営および建設の影響について扱います。プロジェクトメジャーとは、本プロジェクトに組み込まれている各種の措置であり、これには設計特性や管理のベストプラクティスのほか、潜在的影響を回避または最小化するため法律や許認可制度によって義務付けられるその他の措置が含まれます。緩和措置とは、悪影響や重大な影響を回避または最小化、相殺するための追加措置であり、この点以外において本プロジェクトに含まれるものではありません。

交通システムに与える影響の概要については表

S.2をご覧ください。分析には、道路や交差点、貨物用線路、自転車・歩行者用設備、駐車場への影響が含まれます。また、表

S.2には、悪影響および重大な影響に対処するための緩和措置も示されています。

図S-2.WSAB Transit Corridor建設代替案



出典：Metroの代理で2020年に作成

表S.2.交通への潜在的影響と緩和措置

	特定された影響の概要	緩和措置実施前の影響	緩和措置	緩和措置実施後に残存する影響
道路状況	以下の理由により、交差点における道路状況に支障が生じる：(1) 線路が既存の交差点を通過またはこれに隣接するため、中間ブロックの踏切でゲート閉門時に行列が発生、(2) 計画中の駐車場に伴う交通渋滞が発生、(3) 本プロジェクトの実施には道路の改修工事が必要。	<b>NEPA</b> ：代替案1、2、3および設計オプションでは、いずれかまたは両方のピーク時に20か所の交差点で悪影響が生じる。代替案4では、いずれかまたは両方のピーク時に7か所の交差点で悪影響が生じる。	緩和措置TRA-1からTRA-19（特定の交差点の改善）に示されるとおり、信号戦略によって行列や交差点改修工事の影響を最小化。	<b>NEPA</b> ：代替案1、2、3および設計オプションでは、引き続き12か所の交差点において悪影響が残存。代替案4では、緩和措置実施後に悪影響はない。
公共交通機関	各建設代替案により、公共交通機関によるロサンゼルス郡内移動の割合が増加する。この交通手段の変更は、公共交通機関による1日あたりの移動件数に反映されている。	<b>NEPA</b> ：2042年の公共交通機関による1日あたりの移動の増加件数（非建設代替案との比較）： 代替案1 18,375 代替案2 20,224 代替案3 9,206 代替案4 4,749 設計オプション1（MWD） <sup>1</sup> 19,289 設計オプション2（リトルトーキョーの追加） <sup>1</sup> 17,007	不要	<b>NEPA</b> ：特になし

	特定された影響の概要	緩和措置実施前の影響	緩和措置	緩和措置実施後に残存する影響
現行交通手段	本プロジェクトは、現行の交通（歩行や自転車）設備に影響を与え、自転車設備や歩道の撤去またはグレード低下をもたらす。新規設備の追加や現行施設の改善が行われれば、有益な効果が見込まれる。	<b>NEPA</b> ：すべての建設代替案において、パラマウント自転車専用道路の一部区間撤去に伴い悪影響が生じる可能性がある。 現行交通手段の改良点として、物理的な改善（障壁、ゲートなど）、車線分離・標識、照明、その他の設計改善が見込まれる。	緩和措置LU-1（自転車計画との整合）に基づき、自転車専用道路を再編成。	<b>NEPA</b> ：すべての建設代替案において、緩和措置によりこれらの現行交通設備が再構成され連続性が保たれるため、緩和措置実施後に悪影響は生じない。計画済みの設備は設計の変更を余儀なくされる可能性があり、これによって自転車計画の将来的な発展・実施が妨げられ、すべての建設代替案に悪影響が生じるおそれがある。
駐車場	本プロジェクトは、路上および路外駐車場の供給に影響を及ぼし、収容しきれなかった分の駐車が建設予定駅周辺に影響を及ぼす可能性がある。また、場所によっては、線路用地確保のために駐車場が撤去される。	<b>NEPA</b> ：建設代替案は、路外駐車場に関連する悪影響をもたらさない。駐車場不足により既存の需要に対応しきれないため、代替案1と2は、路上駐車場に関連する悪影響を及ぼす。代替案1と2では、提供される専用駐車場と路上駐車場を合計してもファイアストーン駅における本プロジェクトの需要に対応できず、悪影響が生じる可能性がある。	緩和措置TRA-21（駐車場スペースのモニタリングおよびコミュニティアウトリーチ）、TRA-22（駐車緩和プログラム [恒久]）。	<b>NEPA</b> ：建設予定駅周辺、および既存の駐車場が撤去されるエリアの駐車場形態が変化する。緩和措置実施後も、建設代替案1および2で悪影響が残存する。

	特定された影響の概要	緩和措置実施前の影響	緩和措置	緩和措置実施後に残存する影響
カリフォルニア州環境品質法 — 運営	本プロジェクトは、循環システム（公共交通機関や道路、自転車・歩行者設備など）に関するプログラムや計画、条例、政策に抵触するか。	<b>CEQA :</b> 建設代替案は、公共交通機関のサービスやアクセシビリティ、信頼性を向上させる。現行交通網は本プロジェクトのために変更されるため、建設代替案は、計画されている自転車専用道路の将来的な開発・整備を妨げる可能性がある。	緩和措置LU-1（自転車計画との整合）に基づき、自転車専用道路を再編成。	<b>CEQA :</b> すべての建設代替案において、自動車基本計画との抵触により、緩和措置実施後も重大な影響を回避不能。
	本プロジェクトは、CEQAガイドライン第15064.3項(b)に抵触またはこれと矛盾するか。	<b>CEQA :</b> 現状と比較して、VMTが以下のとおり増加： 代替案1 216,100 代替案2 215,000 代替案3 71,800 代替案4 36,300 設計オプション1（MWD） <sup>1</sup> 236,300 設計オプション2（リトルトーキョーの追加） <sup>1</sup> 218,500	不要	<b>CEQA :</b> すべての建設代替案において、有益な効果があり、重大な影響はない。
	本プロジェクトの幾何構造設計特性（急カーブ、危険な交差点など）や適合外の使用（農業機械など）により、危険性が大幅に増加するか。	<b>CEQA :</b> すべての建設代替案において、平面交差の設計には安全措置が組み込まれる。	緩和措置SAF-1（侵入検知）	<b>CEQA :</b> すべての建設代替案において、緩和措置実施後は重大な影響なし。
	本プロジェクトにより、緊急時の通行が制限されるか。	<b>CEQA :</b> 建設代替案は、採択されている緊急対応計画または緊急避難計画、緊急サービスを妨害せず、また緊急対応サービスの需要を増加させることもない。	不要	<b>CEQA :</b> すべての建設代替案において、重大な影響なし。

	特定された影響の概要	緩和措置実施前の影響	緩和措置	緩和措置実施後に残存する影響
建設段階	建設には、使用中の地元道路上およびその近隣エリアにおける地上の線路および駅の建設工事、地下の線路および駅の建設工事、高架型の線路および駅の建設工事、地上における駅前通りの建設工事、通行止め／右左折規制が含まれる。	<b>NEPA</b> ：すべての建設代替案において、作業員や機材の工事現場への往来で交通量が増加し、駐車場が必要となる。鉄道路線の高架（支柱）または地下（開削・埋戻）工事による交通システムへの影響により、車線閉鎖や通行止めが生じる可能性があり、道路交通や公共交通サービスに影響が及ぶ。また、建設により、自転車や歩行者の設備が閉鎖される可能性もある。場所によっては、既存の貨物用線路の移転も必要となる。	TRA-20（交通管理計画）、TRA-23（駐車場減少〔建設〕）	<b>NEPA</b> ：緩和措置実施後、すべての建設代替案において建設関連の一時的な影響は最小限に抑えられるが、悪影響は残存する。
カリフォルニア州環境品質法・建設	本プロジェクトは、循環システム（公共交通機関や道路、自転車・歩行者設備など）に関するプログラムや計画、条例、政策に抵触するか。	<b>CEQA</b> ：建設活動は、交通システムに関連する計画や政策、条例に抵触しない。	TRA-20（交通管理計画）	<b>CEQA</b> ：すべての建設代替案において、緩和措置実施後は重大な影響なし。
	本プロジェクトは、CEQAガイドライン第15064.3項(b)に抵触またはこれと矛盾するか。	<b>CEQA</b> ：建設活動は作業エリア内に限定されるため、調査対象地域全体の車両循環状況に重大な変化は生じない。	不要	<b>CEQA</b> ：すべての建設代替案において、重大な影響なし。
	本プロジェクトの幾何構造設計特性（急カーブ、危険な交差点など）や適合外の使用（農業機械など）により、危険性が大幅に増加するか。	<b>CEQA</b> ：危険を最小限に抑えるため、建設代替案における建設工事には、車両および貨物、歩行者、自転車への一時的対応に関する標準的な工事慣行に準拠した一時的変更が必要となる。	TRA-20（交通管理計画）	<b>CEQA</b> ：すべての建設代替案において、緩和措置実施後は重大な影響なし。
	本プロジェクトにより、緊急時の通行が制限されるか。	<b>CEQA</b> ：建設活動には、既存の交通設備の一時的な変更が必要となる。緊急対応サービスとの連携を通じて緊急時の通行を確保し、プロジェクト関連の対応遅延を最小限に抑える。	TRA-20（交通管理計画）、COM-1（建設アウトリーチ計画）	<b>CEQA</b> ：すべての建設代替案において、緩和措置実施後は重大な影響なし。

出典：Metroの代理で2021年に編集

注：<sup>1</sup> 設計オプション1および2の合計データには、各設計オプションによる代替案1路線の値が含まれる。

CEQA = カリフォルニア州環境品質法、MWD = メトロポリタン水道局、NEPA = 国家環境政策法、VMT = 車両走行マイル数

## S.4 環境影響の範囲と概要

本EIS/EIR草稿の第4章では、現在の状況や環境への影響、プロジェクトメジャーおよび緩和措置（適用される場合）、緩和措置実施後に本プロジェクトの運営と建設が環境に及ぼす影響について説明します。これには、NEPAによる調査結果（背景および影響の程度を考慮したもの）、ならびにカリフォルニア州環境品質法（CEQA）による判定の両方が含まれます。環境の各要素に関するCEQAの判定は、同要素に適用されるCEQAの重要性基準を明示し、基準に照らした本プロジェクトの影響度を評価するものです。

また、影響に対処するためのプロジェクトメジャーおよび緩和措置も示されています。プロジェクトメジャーとは、本プロジェクトに組み込まれている各種の措置であり、これには設計特性や管理のベストプラクティスのほか、潜在的影響を回避または最小化するため法律や許認可制度によって義務付けられるその他の措置が含まれます。これらの措置は、本プロジェクトの必須要件です。該当する措置は、影響分析において考慮されています。緩和措置とは、悪影響や重大な影響を回避または最小化、相殺するための追加措置であり、この点以外において本プロジェクトに含まれるものではありません。これらの措置は、影響分析によって重大な影響または悪影響が特定された場合に必要となります。

運営上の環境影響と必要な緩和措置は、表S.3に概説されています。建設段階における影響と緩和措置については、表S.4に概説されています。成長誘導影響、累積影響、環境正義影響とそれらの緩和措置については、表S.5に概説されています。

表S.3.運営上の環境影響と緩和措置

	特定された影響の概要	緩和措置実施前の影響	緩和措置	緩和措置実施後に残存する影響
土地利用	本プロジェクトでは、周辺の土地利用との適合性に関連した影響が考えられる。	<p><b>NEPA</b>：建設代替案は周辺の用途に抵触せず、鉄道路線としてのROWの機能を変容させたり、近隣の産業用途に使用されている貨物用路線・側線の機能を妨害または変更したり、既存のコミュニティを物理的に分断したりしない。</p> <p>建設代替案では、ベルフラワー自転車専用道路のBellflower</p> <p><b>Boulevard</b>東側区間の再編成と、ベルフラワー駅建設に向けたバス停留所の移転が必要となる。自転車専用道路とバス停留所はコミュニティにおいて引き続き利用可能であり、アクセスにも影響は生じない。</p>	緩和措置LU-1（自転車計画との整合）。	<b>NEPA</b> ：緩和措置LU-1（自転車計画との整合）の実施により、本プロジェクトは、自転車専用道路の機能および、パラマウント自転車専用道路とベルフラワー自転車専用道路の連続性を維持する。したがって、緩和措置実施後は、いずれの建設代替案においても悪影響は残存しない。
	本プロジェクトでは、適用される地域および地方の土地利用計画や政策、規制との整合性に関連した影響が考えられる。	<p><b>NEPA</b>：建設代替案は、地域および地方の土地利用計画や政策、規制と整合する。ただし、すべての建設代替案は、各地が計画している自転車専用道路の将来的な開発・整備を妨げる可能性がある。自転車専用道路は、計画されてはいるものの資金は未調達で、実施の予定も立っていない。しかし、自転車専用道路の編成の変更は現行自転車計画と矛盾すると見なされ、悪影響をもたらす。</p>	緩和措置LU-1（自転車計画との整合）。	<b>NEPA</b> ：すべての建設代替案は、緩和措置LU-1（自転車計画との整合）の実施後も引き続き、将来的な自転車専用道路の開発・整備に関する現行計画を妨げる可能性がある。自転車計画の修正は（住民の関与も含め）地方レベルのプロセスであり、計画の各要素の最終的な結果や解決状況は予測不可能である。したがって、すべての建設代替案において緩和措置実施後も悪影響が残存する。

特定された影響の概要	緩和措置実施前の影響	緩和措置	緩和措置実施後に残存する影響
<p>本プロジェクトは、既存のコミュニティを物理的に分断するか。</p>	<p><b>CEQA :</b> 建設代替案は物理的な障壁を導入するものではなく、提案されている路線のどちら側においても既存の土地利用へのアクセスを恒久的に妨害することはないため、周辺コミュニティへのアクセスは引き続き可能である。</p>	<p>不要</p>	<p><b>CEQA :</b> すべての建設代替案において、重大な影響なし。</p>
<p>本プロジェクトは、環境への影響を回避または緩和するために採択されている何らかの土地利用計画または政策、規制への抵触により、環境に重大な影響を及ぼすか。</p>	<p><b>CEQA :</b> 建設代替案は、適用される地域当局や地元管轄機関の土地利用計画や目標、目的、政策と整合する。ただし、代替案1、2、3は、カダヒー、ハンティントン・パーク、サウス・ゲート、ベル各市が計画している自転車専用道路の将来的な開発・整備を妨げる可能性がある。代替案4は、サウス・ゲート市の自転車基本計画に明示された自転車専用道路の将来的な開発・整備を妨げる可能性がある。自転車専用道路は、計画されているものの資金は未調達で、実施の予定も立っていない。しかし、自転車専用道路の編成の変更は現行自転車計画と矛盾すると見なされ、悪影響をもたらす。提案されている自転車専用道路と、本プロジェクトの路線、および再区画後の貨物用路線に対し、スペースが不十分となる。</p>	<p>緩和措置LU-1（自転車計画との整合）。</p>	<p><b>CEQA :</b> 自転車計画の修正は（住民の関与も含め）地方レベルのプロセスであり、計画の各要素の最終的な結果や解決状況は予測不可能である。建設代替案では、緩和措置実施後も重大な影響を回避不能。</p>

	特定された影響の概要	緩和措置実施前の影響	緩和措置	緩和措置実施後に残存する影響
コミュニティと 近隣区域	本プロジェクトでは、アクセスや移動性、コミュニティの特性および結束、コミュニティの安定性に関連した影響が考えられる。	<b>NEPA</b> : 建設代替案は、アクセスや移動性に悪影響を及ぼさずむしろこれらを改善し、コミュニティの特性および結束を維持するほか、コミュニティ間の接続性の強化によって安定性向上にも寄与する。 建設代替案はアクセスや移動性のパターンを変化させるが、周辺コミュニティや地域資源へのアクセスは維持される。既存の騒音や交通、視覚的特性、土地利用、想定される人口増加に変化が生じるが、これらはコミュニティの特性および結束には影響を及ぼさない。	緩和措置TRA-1からTRA-19（特定の交差点の改善）、VA-1（Somerset Boulevardにおける遮蔽）、VA-2（「Belle」の移動）、NOI-1からNOI-7（防音壁、低衝撃フロッグ、車輪が発する高周波音のモニタリング、踏切や遮断機の警報音停止方法の変更、TPSSの騒音低減など）	<b>NEPA</b> : 緩和措置実施により、建設代替案は悪影響をもたらさない。
	本プロジェクトは、直接（新しい住宅や事業の提案などによって）または間接的に（道路やその他のインフラの拡張を通じて）、いずれかのエリアにおける想定外の人口増加を誘発するか。	<b>CEQA</b> : 建設代替案は、周辺コミュニティの人口増加を直接もたらすことはない。駅周辺のTODの機会、SCAGによる成長予測や地域コミュニティの計画と整合している。	不要	<b>CEQA</b> : すべての建設代替案において、重大な影響なし。

	特定された影響の概要	緩和措置実施前の影響	緩和措置	緩和措置実施後に残存する影響
資産の取得と立ち退き	当該路線の高架線区間を構成する建設物や支柱、TPSS用地、駐車場施設、地下路線および地下TPSS用地の掘削のための恒久的な地下地役権、駅入り口、平面交差および立体交差、貨物用線路の移動、その他付帯設備のため、資産の取得が必要となる。	<p><b>NEPA</b>：建設代替案では、それぞれ異なる区画数の完全または部分的な取得が必要となる。</p> <p>代替案1 220</p> <p>代替案2 283</p> <p>代替案3 172</p> <p>代替案4 59</p> <p>設計オプション1 (MWD) 12</p> <p>設計オプション2 (リトルトーキョーの追加) 4</p> <p>パラマウントMSF用地オプション 43</p> <p>ベルフラワーMSF用地オプション 2</p> <p>統一法 (Uniform Act) およびカリフォルニア州再区画法 (California Relocation Act)、その他適用される規制の遵守により、悪影響は生じない。</p>	不要	<b>NEPA</b> ：すべての建設代替案において、悪影響なし。

特定された影響の概要	緩和措置実施前の影響	緩和措置	緩和措置実施後に残存する影響																
<p>資産の取得により、事業の立ち退きが生じる。</p>	<p><b>NEPA</b>：建設代替案においては、それぞれ異なる件数の事業の立ち退きが生じる。</p> <table border="0"> <tr> <td>代替案1</td> <td>89</td> </tr> <tr> <td>代替案2</td> <td>108</td> </tr> <tr> <td>代替案3</td> <td>65</td> </tr> <tr> <td>代替案4</td> <td>18</td> </tr> <tr> <td>設計オプション1 (MWD)</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>設計オプション2 (リトルトーキョーの追加)</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>パラマウントMSF用地オプション</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>ベルフラワーMSF用地オプション</td> <td>2</td> </tr> </table> <p><b>Metro</b>は、統一法 (Uniform Act) およびカリフォルニア州再区画法 (California Relocation Act) の要件に従い、立ち退くすべての事業に対し移転支援および補償を行う。</p>	代替案1	89	代替案2	108	代替案3	65	代替案4	18	設計オプション1 (MWD)	0	設計オプション2 (リトルトーキョーの追加)	1	パラマウントMSF用地オプション	5	ベルフラワーMSF用地オプション	2	<p>不要</p>	<p><b>NEPA</b>：すべての建設代替案において、悪影響なし。</p>
代替案1	89																		
代替案2	108																		
代替案3	65																		
代替案4	18																		
設計オプション1 (MWD)	0																		
設計オプション2 (リトルトーキョーの追加)	1																		
パラマウントMSF用地オプション	5																		
ベルフラワーMSF用地オプション	2																		

特定された影響の概要	緩和措置実施前の影響	緩和措置	緩和措置実施後に残存する影響																
<p>資産の取得により、居住者の立ち退きが生じる。</p>	<p><b>NEPA</b>：建設代替案においては、それぞれ異なる世帯数の立ち退きが生じる。</p> <table border="0"> <tr> <td>代替案1</td> <td>21</td> </tr> <tr> <td>代替案2</td> <td>21</td> </tr> <tr> <td>代替案3</td> <td>21</td> </tr> <tr> <td>代替案4</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>設計オプション1 (MWD)</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>設計オプション2 (リトルトーキョーの追加)</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>パラマウントMSF用地オプション</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>ベルフラワーMSF用地オプション</td> <td>0</td> </tr> </table> <p><b>Metro</b>は、統一法 (Uniform Act) およびカリフォルニア州再区画法 (California Relocation Act) の要件に従い、立ち退くすべての居住者に対し移転支援および補償を行う。</p>	代替案1	21	代替案2	21	代替案3	21	代替案4	8	設計オプション1 (MWD)	0	設計オプション2 (リトルトーキョーの追加)	0	パラマウントMSF用地オプション	7	ベルフラワーMSF用地オプション	0	<p>不要</p>	<p><b>NEPA</b>：すべての建設代替案において、悪影響なし。</p>
代替案1	21																		
代替案2	21																		
代替案3	21																		
代替案4	8																		
設計オプション1 (MWD)	0																		
設計オプション2 (リトルトーキョーの追加)	0																		
パラマウントMSF用地オプション	7																		
ベルフラワーMSF用地オプション	0																		
<p>本プロジェクトは、既存の住民または住宅、事業の多くに立ち退きを強い、他の場所における代替住宅や代替事業の建設の必要性を生むか。</p>	<p><b>CEQA</b>：</p> <p>上の行に記載のとおり、立ち退きが生じる。代替の住宅や事業拠点の建設は不要である。<b>Metro</b>は、統一法 (Uniform Act) およびカリフォルニア州再区画法 (California Relocation Act) の要件に従い、立ち退くすべての事業に対し移転支援および補償を行う。</p>	<p>不要</p>	<p><b>CEQA</b>：</p> <p>すべての建設代替案において、重大な影響なし。</p>																

	特定された影響の概要	緩和措置実施前の影響	緩和措置	緩和措置実施後に残存する影響
景観・美観	本プロジェクトは、視覚的特性や景観の質、美しい眺望、光、まぶしさに影響を及ぼす可能性がある。	<b>NEPA</b> : 建築代替案は、周辺エリアに新たな資格的要素をもたらす。建築代替案によって影響を受けるエリアの自然な地形が変化することはなく、変化の大半は中立的で、周辺の景観や対象者による感知状況、景観の質、視覚的特性との整合性が維持される。建築代替案では、パブリックアートである牛の像「Belle」と装飾壁の撤去、およびSomerset Boulevardでの修景により、景観に悪影響が生じる。	緩和措置VA-1 (Somerset Boulevardにおける遮蔽) およびVA-2 (「Belle」の移動)	<b>NEPA</b> : すべての建設代替案において、緩和措置実施後は悪影響なし。
	本プロジェクトは、美しい眺望に甚大な悪影響を及ぼすか。	<b>CEQA</b> : 影響を受けるエリアに、美しい眺望の名所はない。したがって、美しい眺望への影響はない。	不要	<b>CEQA</b> : すべての建設代替案において、影響なし。
	本プロジェクトは、州のシーニックハイウェイの景観資源（樹木や岩、歴史的建造物を含むがこれらに限定されない）を大幅に損なうか。	<b>CEQA</b> : 影響を受けるエリア内に、州のシーニックハイウェイはない。したがって、州のシーニックハイウェイの景観資源への影響はない。	不要	<b>CEQA</b> : すべての建設代替案において、影響なし。

	特定された影響の概要	緩和措置実施前の影響	緩和措置	緩和措置実施後に残存する影響
	本プロジェクトは、都市部以外のエリアで、建設用地とその周辺の既存の視覚的特性や大衆にとっての景色の質を大幅に低下させるか。（「大衆にとっての景色」とは、一般大衆がアクセス可能な見晴らしの良い場所から望めるものを指す。）本プロジェクトは、都市部で実施される場合、区画規制や景観の質に関して適用されるその他の規制に抵触するか。	<b>CEQA :</b> 影響を受けるエリアは都市部である。建設代替案により、既存の装飾壁とパラマウント市内のWorld Energy倉庫用通路の南側（提案されているLRT路線の東側）の修景、およびベルフラワー市にあるパブリックアートとしての牛の像「Belle」が撤去される。これらの影響は、開放貯蔵エリアが見えないように配慮するというパラマウント市法の要件、およびベルフラワー市のパブリックアートプログラムに抵触する。	緩和措置VA-1 (Somerset Boulevard)における遮蔽) およびVA-2 (「Belle」の移動)	<b>CEQA :</b> すべての建設代替案において、緩和措置実施後は重大な影響なし。
	本プロジェクトは、日中または夜間における近隣の景観に悪影響を及ぼす新たな強い光を発したり、まぶしさをもたらすか。	<b>CEQA :</b> 建設代替案は、現状の光やまぶしさに甚大な変化をもたらさない。	不要	<b>CEQA :</b> すべての建設代替案において、重大な影響なし。
大気質	本プロジェクトは、影響を受けるエリアにおける1日あたりの汚染物質排出量に影響を及ぼす可能性がある。	<b>NEPA :</b> 建設代替案により、地域での公共交通機関利用への転換といった交通利用パターンの変化が生じ、汚染物質の地域排出が削減される。建設代替案は、MSAT排出に関連する悪影響をもたらさない。	不要	<b>NEPA :</b> すべての建設代替案において、悪影響なし。
	本プロジェクトは、適用される大気質計画に抵触したり、その実施を妨害するか。	<b>CEQA :</b> 建設代替案により、影響を受けるエリア内の1日あたりのVMTが低減され、車両からの排気や道路粉塵が削減される。	不要	<b>CEQA :</b> すべての建設代替案において、重大な影響なし。

	特定された影響の概要	緩和措置実施前の影響	緩和措置	緩和措置実施後に残存する影響
	本プロジェクトは、適用される連邦または州の環境大気質基準に照らして該当地域が未達成である基準汚染物質に、累積的に大幅な純増加をもたらすか。	<b>CEQA :</b> 本プロジェクトは、地域が現状で準拠している2020～2045年のRTP/SCSに含まれる。建設代替案では、1日あたりの排出量の段階的な増加が、適用されるSCAQMDが定める閾値を超えることはない。	不要	<b>CEQA :</b> すべての建設代替案において、重大な影響なし。
	本プロジェクトは、センシティブレセプター（特に敏感に反応する対象）を高濃度の汚染物質にさらすか。	<b>CEQA :</b> 建築代替案はその運営段階において、影響を受けるエリアにおける重大な大気汚染の直接的な原因となる新たな土地利用開発をもたらさない。	不要	<b>CEQA :</b> すべての建設代替案において、重大な影響なし。
	本プロジェクトは、その他の排気（悪臭をもたらすものなど）を引き起こし、多くの人々に悪影響を及ぼすか。	<b>CEQA :</b> 建設代替案の運営により、甚大な悪臭は発生しない。	不要	<b>CEQA :</b> すべての建設代替案において、重大な影響なし。
温室効果ガス（GHG）排出	本プロジェクトの運営段階において、1年あたりのGHG排出量は削減される。	<b>NEPA :</b> 建設代替案では、非建設代替案と比較してGHG排出量が削減される。非建設代替案と比較した、2042年のGHG排出量削減（建設工事による排出量の償却分を含む）（MTCO <sub>2</sub> e/年）。非建設代替案と比較した削減量（率）： 代替案1                   -34,824 (-0.061%) 代替案2                   -27,234 (-0.048%) 代替案3                   -1,681 (-0.003%) 代替案4                   -4,916 (-0.008%) 設計オプション1（MWD） <sup>1</sup> -38,783 (-0.068%) 設計オプション2（リトルトーキョーの追加） <sup>1</sup> -35,992 (-0.063%)	不要	<b>NEPA :</b> すべての建設代替案において、悪影響なし。

	特定された影響の概要	緩和措置実施前の影響	緩和措置	緩和措置実施後に残存する影響
	本プロジェクトは、環境に重大な影響を及ぼしうるレベルで、直接的または間接的にGHGを排出するか。	<b>CEQA :</b> 建設代替案では、MSFでの運営により直接的なGHG排出が発生し、エネルギー消費により間接的なGHG排出が発生するが、長期的に見ればGHG排出量は純減する。	不要	<b>CEQA :</b> すべての建設代替案において、重大な影響なし。
	本プロジェクトは、GHG排出量削減のために採択されている計画や政策、規制に抵触するか。	<b>CEQA :</b> 建築代替案は、2016~2040年のRTP/SCS、および該当するGHG削減計画やエネルギー保全計画と整合する。	不要	<b>CEQA :</b> すべての建設代替案において、重大な影響なし。
騒音と振動	本プロジェクトは、影響を受けやすい土地利用に対し、騒音による影響をもたらす可能性がある。	<b>NEPA :</b> 以下の件数の影響を受けやすい土地利用において、LRTの走行および付帯設備、貨物事業の移動により、中程度から重度の騒音による影響が生じる。  代替案1 327 代替案2 328 代替案3 288 代替案4 164	緩和措置NOI-1からNOI-7 (防音壁、低衝撃フログ、車輪が発する高周波音のモニタリング、踏切や遮断機の警報音停止方法の変更、TPSSの騒音低減など)	<b>NEPA :</b> 緩和措置により、騒音の影響を受ける土地利用の件数は以下の値まで低減される。  代替案1 225 代替案2 225 代替案3 211 代替案4 120  該当する場所では悪影響が残存する。
	本プロジェクトは、影響を受けやすい土地利用に対し、振動による影響をもたらす可能性がある。	<b>NEPA :</b> 本プロジェクトの運営により、以下の件数の影響を受けやすい土地利用において、FTAの影響基準を超える地盤振動が発生する可能性がある。  代替案1 102 代替案2 101 代替案3 96 代替案4 62	緩和措置VIB-1 (バラストマットまたは弾性のあるレール留め具)、VIB-2 (低衝撃フログ)	<b>NEPA :</b> 緩和措置により、振動の影響を受ける土地利用の件数は以下の値まで低減される。  代替案1 14 代替案2 14 代替案3 13 代替案4 11  該当する場所では悪影響が残存する。

特定された影響の概要	緩和措置実施前の影響	緩和措置	緩和措置実施後に残存する影響
本プロジェクトは、一時的または恒久的に近隣区域の周辺騒音レベルを大幅に高め、FTAまたは地方の一般的な計画や騒音条例が定めた基準を上回るか。	<b>CEQA :</b> 上の行に記載のとおり、騒音による影響が生じる。	緩和措置NOI-1からNOI-7 (防音壁、低衝撃フロッグ、車輪が発する高周波音のモニタリング、踏切や遮断機の警報音停止方法の変更、TPSSの騒音低減など)	<b>CEQA :</b> 上の行に記載のレセプター数に関しては、緩和措置実施後も重大な影響を回避不能。
本プロジェクトによって、過度の地盤振動または地盤騒音が生じるか。	<b>CEQA :</b> 上の行に記載のとおり、振動による影響が生じる。	緩和措置VIB-1 (パラストマットまたは弾性のあるレール留め具)、VIB-2 (低衝撃フロッグ)	<b>CEQA :</b> 上の行に記載のレセプター数に関しては、緩和措置実施後も重大な影響を回避不能。
私有滑走路または空港土地利用計画対象地の近く (かかる計画が採択されていない場合は、公共の空港または公共利用可能な空港から2マイル以内の場所) でプロジェクトが実施される場合、本プロジェクトは、同じエリア内に居住または勤務する人々を過度の騒音にさらすか。	<b>CEQA :</b> プロジェクト対象エリアから2マイル以内の範囲に公共の空港や私有滑走路はない。	不要	<b>CEQA :</b> すべての建設代替案において、影響なし。

	特定された影響の概要	緩和措置実施前の影響	緩和措置	緩和措置実施後に残存する影響
生態系・生物資源	調査エリアでは、都市修景と人里植物／観賞植物の植生を行う。野生生物資源は、高度に都市化された環境に適応する生物に限定される。	<b>NEPA</b> : 建設代替案が、候補種 (candidate)、要注意種 (sensitive)、特別種 (special)、または保護樹木に悪影響を及ぼすことはない。建設代替案が、野生生物種 (存在する場合) に影響を与える可能性は低い。建設代替案が、管轄区域の水資源に影響を及ぼすことはない。	不要	<b>NEPA</b> : すべての建設代替案において、悪影響なし。
	本プロジェクトは、地方もしくは地域の計画や政策、規制において、またはカリフォルニア州魚類野生生物局 (CDFW) もしくは米国魚類野生生物局 (FWS) によって、候補種 (candidate) または要注意種 (sensitive)、特別種 (special) に指定された生物に対し、直接的にまたは生息地改変を通じて甚大な悪影響を及ぼすか。	<b>CEQA</b> : 本プロジェクトの運営が野生生物種に影響を与える可能性は低いいため、重大な影響はない。	不要	<b>CEQA</b> : すべての建設代替案において、重大な影響なし。
	本プロジェクトは、地方もしくは地域の計画や政策、規制において、またはカリフォルニア州魚類野生生物局 (CDFW) もしくは米国魚類野生生物局 (FWS) によって指定された、水辺の生物生息環境またはその他の保護すべき自然群落に甚大な悪影響を及ぼすか。	<b>CEQA</b> : 建設代替案は、水辺の生物生息環境またはその他の保護すべき自然群落に影響を及ぼすことはない。	不要	<b>CEQA</b> : すべての建設代替案において、影響なし。

特定された影響の概要	緩和措置実施前の影響	緩和措置	緩和措置実施後に残存する影響
<p>本プロジェクトは、州または連邦によって保護された湿地帯（沼地や季節性の湿地、沿岸湿地を含むがこれらに限定されない）に対し、直接的な除去または埋め立て、水文学的介入、その他の手段で甚大な悪影響を及ぼすか。</p>	<p><b>CEQA :</b> 建設代替案は、州または連邦によって保護された湿地帯に影響を及ぼすことはない。</p>	<p>不要</p>	<p><b>CEQA :</b> すべての建設代替案において、影響なし。</p>
<p>本プロジェクトは、定住生物や回遊魚、移動性野生生物の移動、または定住生物や移動性野生生物の通路を深刻に妨害したり、野生生物の営巣地の使用を阻害するか。</p>	<p><b>CEQA :</b> 建設代替案が、定住生物や回遊魚、移動性野生生物の移動、または定住生物や移動性野生生物の通路を妨害したり、野生生物の営巣地の使用を阻害することはない。CDF Wは、影響を受けるエリア内でマッピングされたCalifornia Essential Habitat Connectivity（カリフォルニア州の基本的生息地間の連結性）エリアを特定しておらず、South Coast Wildlands Network（南岸ワイルドランドネットワーク）によって特定される、消失した連続性も含まない。</p>	<p>不要</p>	<p><b>CEQA :</b> すべての建設代替案において、影響なし。</p>
<p>本プロジェクトは、生物資源保護に関する地方の政策または条例（樹木の保全政策または条例など）に抵触するか。</p>	<p><b>CEQA :</b> 建設代替案は、地方の政策または条例（樹木の保全政策または条例など）に抵触しない。</p>	<p>不要</p>	<p><b>CEQA :</b> すべての建設代替案において、影響なし。</p>

	特定された影響の概要	緩和措置実施前の影響	緩和措置	緩和措置実施後に残存する影響
	本プロジェクトは、採択されている生息地保全計画（HCP）や自然群落保全計画（NCCP）、地方または地域、州で承認済みのその他の生息環境保全計画の条項に抵触するか。	<b>CEQA：</b> 建設代替案は、採択されている生息地保全計画（HCP）や自然群落保全計画（NCCP）、地方または地域、州で承認済みのその他の生息環境保全計画の条項に抵触しない。	不要	<b>CEQA：</b> すべての建設代替案において、影響なし。
地質工学的側面および地下、地震	影響を受けるエリアでは、地震動および断層に誘発される地盤破壊、液状化、地震により誘発される沈下、地震により誘発される浸水、膨張土、地盤沈下、崩壊性土、石油・ガスの自然発生が起こる可能性がある。	<b>NEPA：</b> 地盤破壊を受けやすい既知の活断層は、影響を受けるエリア内ではマップされていない。建設代替案により、人および構築物が中程度から強度の地震による地盤振動にさらされる可能性がある。州および地域の耐震設計基準に従い、構築物は地震による地面の推定震動および結果として生じる地上荷重や変形に耐えられるよう設計および建設する。	不要	<b>NEPA：</b> すべての建設代替案において、悪影響なし。
		<b>NEPA：</b> 建設代替案により、人および構築物が液状化または地震により誘発される沈下の影響にさらされる可能性がある。設計要件の強制的実施により、悪影響は回避される。	不要	<b>NEPA：</b> すべての建設代替案において、悪影響なし。
		<b>NEPA：</b> 代替案1および2において、提案されているポータルおよび地下鉄駅の場所はダムの浸水エリア外となる。代替案1、2、3、4の平面要素については、地震で誘発された浸水が発生してもそれは短期間であり、排水システムにより対応できる。	不要	<b>NEPA：</b> すべての建設代替案において、悪影響なし。
		<b>NEPA：</b> 建設代替案により、人および構築物が膨張土の影響を受け、構築物に損傷が生じるおそれがある。設計要件の強制的実施により、悪影響は回避される。	不要	<b>NEPA：</b> すべての建設代替案において、悪影響なし。

特定された影響の概要	緩和措置実施前の影響	緩和措置	緩和措置実施後に残存する影響
	<p><b>NEPA</b> : 建設代替案により、人および構築物が地盤沈下の影響を受け、構築物に損傷が生じるおそれがある。設計要件の強制的実施により、悪影響は回避される。</p> <p><b>NEPA</b> : 代替案1（設計オプション1と2を含む）および2では、自然発生メタン蒸気および硫化水素ガスが、トンネルと駅の運営に影響を及ぼす可能性がある。代替案3および4の実施中、自然発生石油・ガスによる危害が懸案事項となる見込みはない。</p>	<p>不要</p> <p>緩和措置GEO-1（有害ガス [運営]）、GEO-2（構造設計）、GEO-3（ガスモニタリング [運営]）、GEO-4（トンネル諮問委員会）</p>	<p><b>NEPA</b> : すべての建設代替案において、悪影響なし。</p> <p><b>NEPA</b> : 代替案1および2において、緩和措置実施後は悪影響なし。代替案3および4では影響なし。</p>
<p>州の地質学者が発行した該当エリアに関する最新のアルキスト-プリオロ地震断層帯分帯図に示される既知の地震断層の断裂、または既知の断層を示すその他の実質的証拠に照らして、本プロジェクトは、これらに関連する甚大な潜在的悪影響（損害または負傷、死亡のリスクなど）を直接的または間接的にもたらすか。</p>	<p><b>CEQA</b> : 代替案1および2は、既知の地震断層に関連する影響を経験する可能性がある。代替案3および4は、地盤破壊を受けやすい既知の活断層が地下になく、カリフォルニア州アルキスト-プリオロ震源断層帯法で定められた地震断層内に位置していない。既知の地震および地震発生に伴う変形周辺の断裂に関連する影響は、適用される設計基準に従って設計および建設した場合、重大ではない。</p>	<p>不要</p>	<p><b>CEQA</b> : 代替案1および2において、重大な影響なし。代替案3および4では影響なし。</p>
<p>本プロジェクトは、地震による強い地面の震動に関連する損害または負傷、死亡などの甚大な潜在的悪影響を直接的または間接的にもたらすか。</p>	<p><b>CEQA</b> : 建設代替案では、地震による強い地面の震動を受ける可能性がある。地震動に関連する影響は、適用される設計基準に従って設計および建設した場合、重大ではない。</p>	<p>不要</p>	<p><b>CEQA</b> : すべての建設代替案において、重大な影響なし。</p>

特定された影響の概要	緩和措置実施前の影響	緩和措置	緩和措置実施後に残存する影響
本プロジェクトは、液状化などの地盤震害に関連する損害または負傷、死亡などの甚大な潜在的悪影響を直接的または間接的にもたらすか。	<b>CEQA :</b> 建設代替案では、液状化や側方流動、地震により誘発された沈下などの地盤震害を受ける可能性がある。適用される設計基準に従って設計および建設した場合、重大な影響はない。	不要	<b>CEQA :</b> すべての建設代替案において、重大な影響なし。
本プロジェクトは、地滑りに関連する損害または負傷、死亡などの甚大な潜在的悪影響を直接的または間接的にもたらすか。	<b>CEQA :</b> 自然地滑りが、建設代替案にとって危害となることはない。	不要	<b>CEQA :</b> すべての建設代替案において、重大な影響なし。
本プロジェクトは、甚大な土壌浸食または表土の流出を引き起こすか。	<b>CEQA :</b> 建設代替案は都市部に位置しており、影響を受けるエリアの大半にある表土層は過去の人的活動により破壊または被覆されている。	不要	<b>CEQA :</b> すべての建設代替案において、重大な影響なし。
本プロジェクトは、不安定な、あるいはプロジェクトの結果として不安定になる地質単元または土壌に位置し、用地内外での地滑りや側方流動、地盤沈下、液状化、崩壊につながる可能性があるか。	<b>CEQA :</b> 建設代替案は、崩壊や沈下が起こりやすい可能性のあるエリアにある。沈下または崩壊性土に関連する影響は、適用される設計基準に従って設計および建設した場合、重大ではない。	不要	<b>CEQA :</b> すべての建設代替案において、重大な影響なし。
本プロジェクトは、統一建築基準法（1994年）の表18-1-Bで定義された膨張土上にあり、人命または財産に甚大な直接的・間接的リスクをもたらすか。	<b>CEQA :</b> 影響を受けるエリアの沖積土内に粘土質の土壌が局所的に存在する可能性がある。建設代替案により、人および構築物が膨張土の影響を受け、構築物に損傷が生じるおそれがある。膨張土に関連する影響は、適用される設計基準に従って設計および建設した場合、重大ではない。	不要	<b>CEQA :</b> すべての建設代替案において、重大な影響なし。

	特定された影響の概要	緩和措置実施前の影響	緩和措置	緩和措置実施後に残存する影響																
	<p>廃水処理に下水管を使用できない場合、浄化槽または廃水処理システムを代替とする際に、その使用に十分に対応できない土壌が本プロジェクトに含まれるか。</p>	<p><b>CEQA :</b> 建設代替案により、人や構築物が、浄化槽または代替の廃水処理システムに対応する土壌の適性に伴う重大な影響を受けることはない。</p>	不要	<p><b>CEQA :</b> すべての建設代替案において、影響なし。</p>																
危険および有害物質	<p>影響を受けるエリアには、環境への懸念がある用地が含まれる。</p>	<p><b>NEPA :</b> 建設代替案は、環境への懸念がある複数の用地付近にある。</p> <table border="0"> <tr> <td>代替案1</td> <td>619</td> </tr> <tr> <td>代替案2</td> <td>634</td> </tr> <tr> <td>代替案3</td> <td>298</td> </tr> <tr> <td>代替案4</td> <td>79</td> </tr> <tr> <td>設計オプション1 (MWD) <sup>1</sup></td> <td>23</td> </tr> <tr> <td>設計オプション2 (リトルトーキョーの追加) <sup>1</sup></td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>パラマウントMSF用地オプション</td> <td>9</td> </tr> <tr> <td>ベルフラワーMSF用地オプション</td> <td>3</td> </tr> </table>	代替案1	619	代替案2	634	代替案3	298	代替案4	79	設計オプション1 (MWD) <sup>1</sup>	23	設計オプション2 (リトルトーキョーの追加) <sup>1</sup>	1	パラマウントMSF用地オプション	9	ベルフラワーMSF用地オプション	3	<p>地下メタンまたはその他のガスが存在する場合は、緩和措置GEO-1 (有害ガス [運営]) に記載されたパッシブまたはアクティブな換気システムを設置。</p>	<p><b>NEPA :</b> 緩和措置実施により、すべての建設代替案において悪影響は生じない。</p>
代替案1	619																			
代替案2	634																			
代替案3	298																			
代替案4	79																			
設計オプション1 (MWD) <sup>1</sup>	23																			
設計オプション2 (リトルトーキョーの追加) <sup>1</sup>	1																			
パラマウントMSF用地オプション	9																			
ベルフラワーMSF用地オプション	3																			
	<p>本プロジェクトの運営上、有害物質を使用または発見する可能性がある。</p>	<p><b>NEPA :</b> MSFでの活動に関係なく、建設代替案には保守および運営を目的とする有害物質または廃棄物の使用は含まれない。</p> <p>MSFの運営により、有害大気が放出されることはない。極めて危険有害な物質は閾値を超える量では使用されない。</p>	不要	<p><b>NEPA :</b> すべての建設代替案において、悪影響なし。</p>																

特定された影響の概要	緩和措置実施前の影響	緩和措置	緩和措置実施後に残存する影響
<p>本プロジェクトにより、油井またはガス井、油田、有害な地中ガスが発見される可能性がある。</p>	<p><b>NEPA :</b> 代替案1および2は、廃油田を横断する。代替案1、2、3のエリアに廃油井がある。未確認の廃油井が存在する可能性もある。設計オプションは代替案1と同等の影響を持つ。代替案3と4は、廃油田およびメタン層を通過しない。</p>	<p>緩和措置GEO-1 (有害ガス [運営] )、GEO-2 (構造設計)、GEO-3 (ガスモニタリング [運営] )、GEO-4 (トンネル諮問委員会)</p>	<p><b>NEPA :</b> すべての建設代替案において、緩和措置実施後は悪影響なし。</p>
<p>本プロジェクトは、有害物質の定期的な輸送、使用、廃棄により公衆または環境に重大な危険をもたらすか。</p>	<p><b>CEQA :</b> 建設代替案により、有害物質または廃棄物の輸送、使用、廃棄が定期的に行われることはない。長期間にわたる地下水のモニタリングや今後の保守実施により、汚染された土壌や地下水が発見される可能性がある。</p> <p>鉄道用機器の保守または修理を目的とした有害物質および廃棄物の保管が、MSFの運営に含まれることがある。有害物質や影響を受けた地下水、汚染土壌を運営中に適切に管理した場合、重大な影響はない。</p>	<p>不要</p>	<p><b>CEQA :</b> すべての建設代替案において、重大な影響なし。</p>
<p>本プロジェクトは、環境への有害物質の放出に関連する合理的に予見可能な異常な状態により、公衆または環境に重大な危険をもたらすか。</p>	<p><b>CEQA :</b> 建設代替案には、標準的な運営を支援するのに必要な量を超える有害物質の輸送、使用、廃棄は含まれず、影響も生じない。</p> <p>鉄道用機器の保守または修理を目的とした有害物質および廃棄物の保管が、MSFの運営に含まれることがある。</p>	<p>緩和措置GEO-1 (有害ガス [運営] )、GEO-2 (構造設計)、GEO-3 (ガスモニタリング [運営] )、GEO-4 (トンネル諮問委員会)</p>	<p><b>CEQA :</b> すべての建設代替案において、緩和措置実施後は重大な影響なし。</p>

特定された影響の概要	緩和措置実施前の影響	緩和措置	緩和措置実施後に残存する影響
<p>本プロジェクトは、既存または提案された学校の4分の1マイル以内で、有害大気汚染物質を排出したり、有害／急性有害材料または物質、廃棄物を処理したりするか。</p>	<p><b>CEQA :</b> 建設代替案では、本プロジェクトの実施中に有害物質を排出したり、有害／急性有害材料または物質、廃棄物を処理したりすることはない。MSFの運営において、プロジェクト実施中に少量の有害／急性有害材料または物質、廃棄物を含有する可能性がある洗浄剤または潤滑油を使用する可能性がある。有害物質を適切に管理した場合、重大な影響はない。</p>	<p>不要</p>	<p><b>CEQA :</b> すべての建設代替案において、重大な影響なし。</p>
<p>本プロジェクトは、政府規約第65962.5項に従って作成された、有害物質取扱施設のリストに含まれる用地に位置し、その結果、公衆または環境に重大な危険をもたらすか。</p>	<p><b>CEQA :</b> 建設代替案は、規制当局がリストした有害物質汚染のある用地またはその周辺で実施する。本プロジェクトの実施により、土壌や土壌蒸気、地下水に支障が及ぶことはない。</p>	<p>不要</p>	<p><b>CEQA :</b> すべての建設代替案において、重大な影響なし。</p>
<p>空港土地利用計画対象地内（かかる計画が採択されていない場合は、公共の空港または公共利用可能な空港から2マイル以内の場所）でプロジェクトが実施される場合、本プロジェクトは、同エリアに居住または勤務する人々を安全上の危険または過度の騒音にさらすか。</p>	<p><b>CEQA :</b> 建設代替案実施エリアの2マイル以内に空港はない。</p>	<p>不要</p>	<p><b>CEQA :</b> すべての建設代替案において、影響なし。</p>

	特定された影響の概要	緩和措置実施前の影響	緩和措置	緩和措置実施後に残存する影響
	本プロジェクトは、採択されている緊急対応計画または緊急避難計画の実施を阻害したり、これらを物理的に妨害するか。	<b>CEQA :</b> 避難計画は通常、現行鉄道路線を横断しないように策定されており（米国保健福祉省、2003年）、これらの地上区間は稼働中の鉄道沿線に位置しているため、建設代替案は採択されている緊急対応計画や避難計画を阻害または妨害しない。	不要	<b>CEQA :</b> すべての建設代替案において、重大な影響なし。
	本プロジェクトにより、直接的または間接的に、人や構造物が原野火災に関連する損害または負傷、死亡などの重大なリスクにさらされるか。	<b>CEQA :</b> 建設代替案実施エリア近隣に原野はない。	不要	<b>CEQA :</b> すべての建設代替案において、影響なし。
水資源	本プロジェクトでは、河川上または拡大した不透水地域上の新規構造物など、既存の河川に直接的または間接的な影響を与える可能性のある、新規または改良された特徴が導入される。	<b>NEPA :</b> 建設代替案により、不透水地域は次のように増加する（単位：エーカー）。 代替案1 14.7 代替案2 14.9 代替案3 8.3 代替案4 3.4 パラマウントMSF用地オプション 1.3 ベルフラワーMSF用地オプション 12.7	不要	<b>NEPA :</b> すべての建設代替案において、悪影響なし。
	本プロジェクトは、FEMA規定の氾濫原を横断する。	<b>NEPA :</b> 建設代替案に関連する線路および構造物は、既存の河道の壁や堤防の上に建設される。これらが、河川沿いの侵入や、氾濫原内での適合しない開発につながることはない。	不要	<b>NEPA :</b> すべての建設代替案において、悪影響なし。

特定された影響の概要	緩和措置実施前の影響	緩和措置	緩和措置実施後に残存する影響
本プロジェクトは、地下水に影響を与える可能性がある。	<b>NEPA</b> : 建設代替案は、高度に都市化された地域で実施されるため、流域およびそれに対応する地下水涵養地帯に関しては、正味の新規不透水地域の全体の増加は、不透水地域全体から見るとごくわずかである。	不要	<b>NEPA</b> : すべての建設代替案において、悪影響なし。
本プロジェクトは、水質基準もしくは廃液の排出に関する要件に違反するか、または地表水や地下水の質を大幅に低下させるか。	<b>CEQA</b> : 建設代替案は、ロサンゼルス郡MS4 NPDESの許可およびIGPを必要とする。MS 4 NPDESの許可を得るには、用地設計および調達管理、処理制御のBMPを可能な限り最大限まで実施することが求められる。	不要	<b>CEQA</b> : すべての建設代替案において、重大な影響なし。
本プロジェクトが、地下水供給を大幅に低減させたり、地下水涵養を大幅に妨害したりすることで、流域の持続可能な地下水管理を妨げる可能性があるか。	<b>CEQA</b> : 建設代替案およびMSFの用地オプションにより、上の行で定量化した新しい不透水地域ができる。影響を受けるエリア内の不透水面の増加は、17万7,000エーカーのエリアに占める割合としてはごくわずかである。	不要	<b>CEQA</b> : すべての建設代替案において、重大な影響なし。
本プロジェクトは、用地内外で大きな浸食または沈泥をもたらす形で、水路や河川の流変や不透水面の増大により、用地またはエリアの既存の水系模様を大幅に変化させるか。	<b>CEQA</b> : 建設代替案の実施が、プロジェクト用地からの流出率や流出量を大幅に増加させ、用地内外で洪水を引き起こすことはない。	不要	<b>CEQA</b> : すべての建設代替案において、重大な影響なし。

特定された影響の概要	緩和措置実施前の影響	緩和措置	緩和措置実施後に残存する影響
<p>本プロジェクトは、既存または計画中の雨水排水システムの容量の超過や、汚染流出の大きな原因となる流出水を生成したり、その一因となる形で、水路や河川の流変や不浸透面の増大により、用地またはエリアの既存の水系模様を大幅に変化させるか。</p>	<p><b>CEQA :</b> 建設代替案は、雨水流出に悪影響を及ぼさない。</p>	<p>不要</p>	<p><b>CEQA :</b> すべての建設代替案において、重大な影響なし。</p>
<p>本プロジェクトは、洪水の流れを阻害したり、迂回させる形で、水路や河川の流変や不浸透面の増大により、用地またはエリアの既存の水系模様を大幅に変化させるか。</p>	<p><b>CEQA :</b> 建設代替案が、洪水の流れを阻害したり、迂回させることはない。</p>	<p>不要</p>	<p><b>CEQA :</b> すべての建設代替案において、重大な影響なし。</p>
<p>洪水の危険や津波、セイシュの発生域において、本プロジェクトは浸水による汚染物質の放出リスクをもたらすか。</p>	<p><b>CEQA :</b> 建設代替案は、浸水による汚染物質の放出に関連した重大な影響を及ぼさない。影響を受けるエリアに、セイシュや津波の発生リスクはない。</p>	<p>不要</p>	<p><b>CEQA :</b> すべての建設代替案において、重大な影響なし。</p>
<p>本プロジェクトは、水質管理計画または持続可能な地下水管理計画に抵触したり、それらの実施を妨害するか。</p>	<p><b>CEQA :</b> 建設代替案は、水質管理計画または持続可能な地下水管理計画の実施を妨害しない。</p>	<p>不要</p>	<p><b>CEQA :</b> すべての建設代替案において、重大な影響なし。</p>

	特定された影響の概要	緩和措置実施前の影響	緩和措置	緩和措置実施後に残存する影響
エネルギー	本プロジェクトの実施にはエネルギーが必要とされる。	<p><b>NEPA</b> : 2042年の建設代替案の不実施による運営エネルギー消費量の削減 (MMBTU/年) :</p> <p>代替案1                    -626,621 (-0.08%)</p> <p>代替案2                    -515,569 (-0.06%)</p> <p>代替案3                    -123,011 (-0.02%)</p> <p>代替案4                    -116,630 (-0.01%)</p> <p>設計オプション1 (MWD) <sup>1</sup></p> <p>                                     -661,123 (-0.08%)</p> <p>設計オプション2 (リトルトーキョーの追加) <sup>1</sup></p> <p>                                     -618,243 (-0.08%)</p>	不要	<b>NEPA</b> : すべての建設代替案において、悪影響なし。
	本プロジェクトは、プロジェクトの建設または運営中のエネルギー資源の無駄、非効率、または不必要な消費により、重大な環境影響をもたらす可能性があるか。	<p><b>CEQA</b> :</p> <p>建設代替案が、運営中のエネルギー資源の無駄、非効率、または不必要な消費をもたらすことはない。</p> <p>本プロジェクトを2017年に実施していた場合と比較した、運営に伴う輸送エネルギー消費量の変化 (MMBTU/年) :</p> <p>代替案1                    156,597 (0.02%)</p> <p>代替案2                    -478,042 (-0.05%)</p> <p>代替案3                    -147,833 (-0.02%)</p> <p>代替案4                    -98,425 (0.01%)</p> <p>設計オプション1 (MWD) <sup>1</sup></p> <p>                                     -682,705 (0.08%)</p> <p>設計オプション2 (リトルトーキョーの追加) <sup>1</sup></p> <p>                                     -400,696 (0.044%)</p>	不要	<b>CEQA</b> : すべての建設代替案において、重大な影響なし。

	特定された影響の概要	緩和措置実施前の影響	緩和措置	緩和措置実施後に残存する影響
	本プロジェクトは、再生可能エネルギーまたはエネルギー効率に関する州または地域の計画に抵触したり、それらを妨害するか。	<b>CEQA :</b> 建設代替案は、適用される地域および地方のの保全計画と一致している。	不要	<b>CEQA :</b> すべての建設代替案において、重大な影響なし。
電磁界	本プロジェクトの実施により、電磁界が生成される。	<b>NEPA/CEQA :</b> LRT車両が生成するEMFレベルは、健康安全基準を下回っている。影響を受けるエリアには、EMFの影響を受ける機材を含む施設はない。	不要	<b>NEPA/CEQA :</b> すべての建設代替案において、悪影響/影響なし。
歴史的・考古学的・古生物学的資源	本プロジェクトは、歴史的・建築学的（建設環境の）建造物に影響を与える可能性がある。	<b>NEPA :</b> 代替案1および2の実施には、歴史的建造物の物理的変化が伴うが、悪影響は回避される。また、すべての建設代替案は、悪影響を及ぼさない方法でセンチュリー・フリーウェイ-トランジットウェイ歴史的地区に変化をもたらす。建設代替案の実施により、現存する建築環境の歴史的建造物の歴史的特性が、その場所やデザイン、環境、素材、ワークマンシップ、印象、または関連性の一貫性を損なうような形で変更または修正されることはない。	CR-6 (歴史設計レビュー)	<b>NEPA :</b> すべての建設代替案において、緩和措置実施後は悪影響なし。
	本プロジェクトは、考古学資源に影響を与える可能性がある。	<b>NEPA :</b> 建設代替案の実施が、考古学的な歴史的建造物に影響を与えることはない。	不要	<b>NEPA :</b> すべての建設代替案において、影響なし。
	本プロジェクトは、古生物学的資源に影響を与える可能性がある。	<b>NEPA :</b> 建設代替案の実施は、最小限の（ある場合）地盤を乱す工事を伴うが、プロジェクト運営中に古生物学的資源に悪影響が及ぶことはない。	不要	<b>NEPA :</b> すべての建設代替案において、悪影響なし。

	特定された影響の概要	緩和措置実施前の影響	緩和措置	緩和措置実施後に残存する影響
	本プロジェクトは、第15064.5項で規定されている歴史的資源の重要性に甚大な悪影響をもたらすか。	<b>CEQA :</b> 代替案1および2の実施には、歴史的資源の物理的変更が伴い、これが結果的に建設環境の歴史的資源に重大な影響を及ぼす可能性がある。また、すべての建設代替案は、重大な影響のない方法でセンチュリー・フリーウェイ-トランジットウェイ歴史的地区に変化をもたらす。	CR-6 (歴史設計レビュー)	<b>CEQA :</b> すべての建設代替案において、緩和措置実施後は重大な影響なし。
	本プロジェクトは、第15064.5項で規定されている考古学的資源の重要性に甚大な悪影響をもたらすか。	<b>CEQA :</b> 建設代替案の実施が、考古学的な歴史的建造物に影響を与えることはない。	不要	<b>CEQA :</b> すべての建設代替案において、影響なし。
	本プロジェクトは、墓地以外の場所に埋葬されているものも含め、遺骨を乱すことがあるか。	<b>CEQA :</b> 建設代替案の実施が、遺骨に影響を与えることはない。	不要	<b>CEQA :</b> すべての建設代替案において、影響なし。
	本プロジェクトは、固有の古生物学的資源や埋蔵地、固有の地質学的特徴を直接的または間接的に破壊するか。	<b>CEQA :</b> 建設代替案の実施が、古生物学的資源に影響を与えることはない。	不要	<b>CEQA :</b> すべての建設代替案において、影響なし。
部族文化資源	第106項に従って、ネイティブアメリカン部族との協議を実施した。	<b>NEPA :</b> 影響を受ける可能性のあるエリア内では、伝統文化財は特定されていない。	不要	<b>NEPA :</b> すべての建設代替案において、悪影響なし。
	本プロジェクトは、公的資源法第21074項で規定された部族文化資源の重要性に対し、重大な悪影響を及ぼすか。 つまり、カリフォルニア州	<b>CEQA :</b> 代替案1と設計オプション1では、部族文化資源であると推定される資源が影響を受けるエリア内で1つ特定されている。代替案1または設計オプション1の実施が、資源に直接的または間接的な影響を与えることは	不要	<b>CEQA :</b> すべての建設代替案において、影響なし。

特定された影響の概要	緩和措置実施前の影響	緩和措置	緩和措置実施後に残存する影響
<p>ネイティブアメリカンにとって文化的価値があり、景観、聖地、物体の規模・範囲の点で地理的に定義される、土地、特徴、場所、文化的景観として地理的に定義される地域、特徴、場所、または文化的景観の重要性に重大な悪影響を及ぼすか。具体的には、以下の点について検討する。</p> <p>a) カリフォルニア州歴史資源登録簿、または公的資源法第5020.1項(k)で定められた地域歴史資源登録簿に明記されている、または明記される資格がある、または</p> <p>b) 主導機関は、公的資源法第5024.1項(c)で定められた基準に従って、その裁量により重要であると判断した資源が実質的証拠によって支持される場合、カリフォルニア州ネイティブアメリカンにとっての資源の重要性を考慮するものとする。</p>	<p>ない。他の資源は特定されていない。</p>		

	特定された影響の概要	緩和措置実施前の影響	緩和措置	緩和措置実施後に残存する影響
公園およびコミュニティ施設	本プロジェクトの影響を受けるエリア内に、公園およびコミュニティ施設がある。	<p><b>NEPA</b>：建設代替案には、パラマウント・パーク北境沿いに位置する公益事業者LADWPの敷設用地の一部資産の取得と、パラマウント・パーク内でMetroが賃貸する駐車場のリース解約が必要となる。サンペドロサブディビジョンROWにあり、ソルトレイク・パークが使用する用地外駐車場は、撤去／移転となる。</p> <p>建設代替案は、ベルフラワー自転車用道路とパラマウント自転車用道路の再編成を必要とする。また、代替案1、2、3は、ハンテントン・パーク、カダヒー、サウス・ゲート、ベル各市の計画に明示されている自転車専用道路の将来的な開発・整備を阻害または妨害する可能性がある。代替案4は、サウス・ゲート市の自転車基本計画に明示された自転車専用道路の将来的な開発・整備を阻害または妨害する可能性がある。自転車専用道路は、計画されてはいるものの資金は未調達で、実施の予定も立っていない。しかし、自転車専用道路の編成の変更は現行自転車計画と矛盾すると見なされ、悪影響をもたらす。提案されている自転車専用道路と、本プロジェクトの路線、および再区画後の貨物用路線に対し、スペースが不十分となる。</p>	緩和措置LU-1（自転車計画との整合）。	<p><b>NEPA</b>：緩和措置LU-1（自転車計画との整合）の実施により、すべての建設代替案は、自転車用道路の機能および、パラマウント自転車用道路とベルフラワー自転車用道路との連続性を維持する。しかし、すべての建設代替案は、将来的な自転車専用道路の開発・整備に関する現行計画を妨げ、自転車用設備へのアクセスを制限する可能性がある。自転車計画の修正は（住民の関与も含め）地方レベルのプロセスであり、計画の各要素の最終的な結果や解決状況は予測不可能である。したがって、緩和措置実施後も、すべての建設代替案において悪影響が残る。</p>

特定された影響の概要	緩和措置実施前の影響	緩和措置	緩和措置実施後に残存する影響
<p>本プロジェクトは、公園やレクリエーション施設に許容される基準を維持する上で、政府施設の新規提供もしくは物理的改造の実施、または政府施設の新規提供もしくは物理的改造の必要性に関連する甚大な物理的悪影響を及ぼすか。</p>	<p><b>CEQA :</b> 建設代替案は、各地が計画・採択している自転車専用道路の将来的な開発・整備を阻害または妨害し、自転車用設備へのアクセスを制限する可能性がある。</p>	<p>緩和措置LU-1（自転車計画との整合）。</p>	<p><b>CEQA :</b> すべての建設代替案において、重大な影響を回避不能。</p>
<p>本プロジェクトは、施設の実質的な物理的劣化が発生する、または加速するほどに、既存の近隣・広域公園、その他のレクリエーション施設の利用を増加させるか。</p>	<p><b>CEQA :</b> 建設代替案により、交通機関の駅が近隣にある公園や自転車施設にアクセスしやすくなり、地域および周辺コミュニティによる利用が増える可能性があるが、自転車施設のインフラに深刻な影響を与えることは期待されていない。</p>	<p>不要</p>	<p><b>CEQA :</b> すべての建設代替案において、重大な影響なし。</p>
<p>本プロジェクトでは、環境に物理的悪影響を及ぼすようなレクリエーション施設の建設、または既存のレクリエーション施設の拡張が必要となるか。</p>	<p><b>CEQA :</b> 既存のパラマウント自転車専用道路とベルフラワー自転車専用道路は、本プロジェクトに合わせて再構成し、アクセスと接続性を維持する。建設代替案は、Salt Lake Avenue沿いに計画されているクラスI自転車専用道路（代替案1、2、3の場合）、およびRayo Avenueの北側とロサンゼルス・リバーの南側で計画されているクラスI自転車専用道路（代替案1、2、3、4の場合）の将来的な開発・整備を阻害または妨害する可能性がある。自転車専用道路は、計画されてはいるものの資金は未調達で、実施の予定も立っていない。また、自転車専用道路の編成の変更は現行自転車計画と矛盾すると見なされ、悪影響をもたらす。</p>	<p>緩和措置LU-1（自転車計画との整合）。</p>	<p><b>CEQA :</b> すべての建設代替案において、緩和措置実施後も重大な影響を回避不能。</p>

	特定された影響の概要	緩和措置実施前の影響	緩和措置	緩和措置実施後に残存する影響
経済および財政への影響	本プロジェクトは、雇用、資産価値、接続性、地方税の基準に影響を与える可能性がある。	<b>NEPA</b> ：建設代替案は、113～282の新規雇用に創出することで、300万～760万ドルの追加的な賃金および給料を直接的に生み出す可能性がある。資産価値に対する全体的な影響が、地域経済に純便益をもたらすことが予想される。地元企業への影響には、駐車場の喪失や交通アクセスの増加が含まれる。私有地を鉄道用地にすると、地方税ベースは減少するが、資産価値の向上や新規建設により税収は増加する。建設代替案により、上記の「資産の取得と立ち退き」で特定された事業およびそれに関連する業務は立ち退きを強いられ、これにより移転となる可能性が高い。	緩和措置TRA-22（駐車緩和プログラム [恒久]）。	<b>NEPA</b> ：すべての建設代替案において、緩和措置実施後は悪影響なし。
	本プロジェクトによって、地域の移動性と接続性に重大な影響が生じるか。	<b>CEQA</b> ：建設代替案は、交通のアクセシビリティや移動性を改善して地域の接続性を高め、地域内での移動にかかる時間やコストを削減することで、経済および財政に有益な影響を及ぼす。	不要	<b>CEQA</b> ：すべての建設代替案において、重大な影響なし。
安全性・保安	交通システムの安全性に関しては、安全上の危険の特定、排除、および／または制御に重点を置く。	<b>NEPA</b> ：建設代替案は、旅客と従業員の安全性・保安を提供することを目的とする。鉄道用地の一部は貨物事業と共有され、脱線や衝突に起因する悪影響がもたらされる可能性がある。	緩和措置SAF-1（侵入検知）により、Metroの鉄道用地内で発生しうる脱線を検知。	<b>NEPA</b> ：すべての建設代替案において、悪影響なし。
	平面交差により、自動車、歩行者、自転車の衝突の可能性や、その安全に潜在的な危険がもたらされる。	<b>NEPA</b> ：建設代替案は、適用されるすべての規制に準拠する。交通規制の改善や道案内機能の導入により、安全な経路を確保し、駐車場施設と駅入口間を移動する車両および歩行者／自転車が衝突する可能性を軽減する。	不要	<b>NEPA</b> ：すべての建設代替案において、悪影響なし。

特定された影響の概要	緩和措置実施前の影響	緩和措置	緩和措置実施後に残存する影響
<p>本プロジェクトは、地元管轄機関の緊急対応計画の実施を阻害したり、緊急サービスを遅延させる可能性がある。</p>	<p><b>NEPA :</b> Metroは、個々の管轄区域内の施設における火災／人命の安全性・保安に取り組むため、該当の消防および警察署と調整を図る。Metroは、地元管轄機関との連携により、緊急サービスの対応時間の遅れ軽減を目的とした交通管理計画を策定する。</p>	<p>不要</p>	<p><b>NEPA :</b> すべての建設代替案において、悪影響なし。</p>
<p>保安は、負傷や損害をもたらすおそれのある意図的な行為から人々を保護すること、また故意の行為から資産を保護することに関連する。</p>	<p><b>NEPA :</b> 建設代替案には、犯罪やテロ活動の可能性を低減するため、照明、監視、CCTV、アクセス制御、非常電話などの安全対策の実施を含む。</p>	<p>不要</p>	<p><b>NEPA :</b> すべての建設代替案において、悪影響なし。</p>
<p>本プロジェクトは、採択されている緊急対応計画または緊急避難計画の実施を阻害したり、これらを物理的に妨害するか。</p>	<p><b>CEQA :</b> 避難計画は通常、現行鉄道路線を横断しないように策定されており（米国保健福祉省、2003年）、これらの地上区間は稼働中の鉄道沿線に位置しているため、建設代替案は採択されている緊急対応計画や避難計画を阻害または妨害しない。</p>	<p>不要</p>	<p><b>CEQA :</b> すべての建設代替案において、重大な影響なし。</p>
<p>本プロジェクトは、消防や警察の保護業務における応答時間やその他のパフォーマンス目標を維持する上で、政府施設の新規提供もしくは物理的改造の実施、または政府施設の新規提供もしくは物理的改造の必要性に関連する甚大な物理的悪影響を及ぼすか。</p>	<p><b>CEQA :</b> 建設代替案は、緊急サービスに関連する施設の新規提供または拡張の必要性を生み出すことはない。</p>	<p>不要</p>	<p><b>CEQA :</b> すべての建設代替案において、影響なし。</p>

	特定された影響の概要	緩和措置実施前の影響	緩和措置	緩和措置実施後に残存する影響
	本プロジェクトの幾何構造設計特性（急カーブ、危険な交差点など）や適合外の使用（農業機械など）により、危険性が大幅に増加するか。	<b>CEQA :</b> 建設代替案では、新たに平面交差が設置される。LRT事業はROWを貨物事業と共有し、影響は重大であると見なされる。	緩和措置SAF-1（侵入検知）により、Metroの鉄道用地内で発生しうる脱線を検知。	<b>CEQA :</b> すべての建設代替案において、重大な影響なし。

出典：Metroの代理で2021年に編集

注：<sup>1</sup>設計オプション1および<sup>2</sup>の合計データには、各設計オプションによる代替案1路線の値が含まれる。

BMP = 管理のベストプラクティス、CCTV = 閉回路テレビ、CDFW = カリフォルニア州魚類野生生物局、CEQA = カリフォルニア州環境品質法、EMF = 電磁界、FEMA = 連邦緊急事態管理局、FTA = 連邦交通局、GHG = 温室効果ガス、IGP = 産業一般許可、LADWP = ロサンゼルス水道電力局、LRT = Light Rail Transit（新型路面電車）、MS4 = 地方自治体の雨水汚水分流システム、MMBTU = 100万英サーマルユニット、MSAT = 自動車を原因とする大気汚染物質、MSF = 保守貯蔵施設、MTCO2e = 二酸化炭素換算トン、MWD = メトロポリタン水道局、NEPA = 国家環境政策法、NPDES = 全国汚染物質排水削減制度、ROW = 鉄道用地、RTP/SCS = 地域交通計画／持続可能コミュニティ戦略、SCAG = 南カリフォルニア政府協会、SCAQMD = 南岸大気管理局、TOD = ライトレール沿線コミュニティ開発、TPSS = 牽引変電所、VMT = 車両走行マイル数。

表S.4.建設上の環境影響と緩和措置

	特定された影響の概要	緩和措置実施前の影響	緩和措置	緩和措置実施後に残存する影響
土地利用	影響を受けるエリアでの土地利用に建設が及ぼしうる一時的な影響として、障壁やフェンス、駐車、車線および現行交通の迂回、大気質、騒音などが考えられる。	<b>NEPA :</b> 建設代替案に関連する一時的な建設活動は、公共道路および/もしくは鉄道ROW内、または建設目的で取得された用地内で行われる。建設用地周辺には一時的に障壁やフェンスが設置され、資材置き場には建設作業員用の仮設駐車場が増設される。また、影響を受けやすい土地利用は、大気質や断続的な工事騒音に関連する悪影響を受ける可能性がある。建設代替案は、適用される規制を遵守し、これらの影響を最小限に抑える。	緩和措置COM-1 (建設アウトリーチ計画)、AQ-1 (自動車排出ガス)、NOI-8 (騒音防止計画)、VIB-3からVIB-7 (振動防止計画、建築基礎への衝撃装置またはドリルの使用最小化、建設工事の振動制限、建設活動のモニタリングなど)	<b>NEPA :</b> すべての建設代替案において、緩和措置実施後は悪影響なし。
	本プロジェクトは、既存のコミュニティを物理的に分断するか。	<b>CEQA :</b> 影響を受けるエリアでの土地利用に建設が及ぼしうる一時的な影響として、障壁やフェンス、駐車、車線および現行交通の迂回などが考えられる。	緩和措置COM-1 (建設アウトリーチ計画)	<b>CEQA :</b> すべての建設代替案において、緩和措置実施後は重大な影響なし。
	本プロジェクトは、環境への影響を回避または緩和するために採択されている何らかの土地利用計画または政策、規制への抵触により、環境に重大な影響を及ぼすか。	<b>CEQA :</b> 建設活動は一時的なものであり、適用される地域および地方の土地利用計画や政策、規制に直接抵触することはない。	不要	<b>CEQA :</b> すべての建設代替案において、重大な影響なし。

	特定された影響の概要	緩和措置実施前の影響	緩和措置	緩和措置実施後に残存する影響
コミュニティと近隣区域	建設がコミュニティや近隣区域に及ぼす影響として、アクセスや移動性、コミュニティの特性および結束、コミュニティの安定性に対する一時的な影響が考えられる。	<b>NEPA :</b> 建設代替案の建設活動は一時的なものであり、これに伴う工事現場および資材置き場周囲の障壁は、工事完了時に撤去される。道路や車線、自転車専用道路の一時的な迂回・通行止めは、工事前の状態に戻る。ただし、一時的な通行止めや迂回路の利用のタイミングにより、悪影響が生じる。建設活動はコミュニティの物理的なレイアウトや特性を恒久的に孤立または変容させるものではなく、コミュニティからの住民転出の原因にはならないと考えられる。	緩和措置COM-1 (建設アウトリーチ計画)	<b>NEPA :</b> すべての建設代替案において、緩和措置実施後は悪影響なし。
	本プロジェクトは、直接（新しい住宅や事業の提案などによって）または間接的に（道路やその他のインフラの拡張を通じて）、いずれかのエリアにおける想定外の人口増加を誘発するか。	<b>CEQA :</b> 建設は一時的なものであり、直接的または間接的に想定外の人口増加を誘発することはない。	不要	<b>CEQA :</b> すべての建設代替案において、重大な影響なし。

	特定された影響の概要	緩和措置実施前の影響	緩和措置	緩和措置実施後に残存する影響
資産の取得と立ち退き	建設活動のための資産の取得、または資産に対するその影響のほか、事業や住民への影響が考えられる。	<p><b>NEPA</b> : 運営に必要な区画に加え、建設にはそれぞれ異なる区画数の取得または一時的な地役権が必要となる。</p> <p>代替案1 238</p> <p>代替案2 235</p> <p>代替案3 191</p> <p>代替案4 87</p> <p>設計オプション1 (MWD) 5</p> <p>設計オプション2 (リトルトーキョーの追加) 3</p> <p>パラマウントMSF用地オプション 2</p> <p>ベルフラワーMSF用地オプション 0</p> <p>統一法 (Uniform Act) およびカリフォルニア州再区画法 (California Relocation Act) 、 その他適用される規制の遵守により、悪影響は生じない。</p>	不要	<b>NEPA</b> : すべての建設代替案において、悪影響なし。
	本プロジェクトは、既存の住民または住宅、事業の多くに立ち退きを強い、他の場所における代替住宅や代替事業の建設の必要性を生むか。	<b>CEQA</b> : 上の行に記載の資産取得と地役権が必要となる。建設をサポートするこれらの資産取得により、代替の住宅や事業の建設を必要とするような立ち退きは発生しない。	不要	<b>CEQA</b> : すべての建設代替案において、重大な影響なし。
景観・美観	一時的な建設工事現場や資材置き場が目に入り、景観の質が一時的に変化する可能性がある。	<b>NEPA</b> : 該当エリアの建設活動は、景観に関連する悪影響をもたらす可能性がある。建設は眺望には影響を及ぼさないが、工事現場は一時的に、影響を受けやすい対象の目に留まる。夜間工事が行われる場合、影響を受けやすい対象は、工事現場から漏れる光やまぶしさの影響を強く受ける。	緩和措置VA-3 (LAUSにおける修景)、VA-4 (建設工事現場の遮蔽)、VA-5 (建設工事の照明)、N OI-8 (騒音防止計画)	<b>NEPA</b> : すべての建設代替案において、緩和措置実施後は悪影響なし。

	特定された影響の概要	緩和措置実施前の影響	緩和措置	緩和措置実施後に残存する影響
	本プロジェクトは、美しい眺望に甚大な悪影響を及ぼすか。	<b>CEQA :</b> 影響を受けるエリア内に、美しい眺望の名所はない。	不要	<b>CEQA :</b> すべての建設代替案において、影響なし。
	本プロジェクトは、州のシーニックハイウェイの景観資源（樹木や岩、歴史的建造物を含むがこれらに限定されない）を大幅に損なうか。	<b>CEQA :</b> 影響を受けるエリア内に、州のシーニックハイウェイはない。	不要	<b>CEQA :</b> すべての建設代替案において、影響なし。
	本プロジェクトは、都市部以外のエリアで、建設用地とその周辺の既存の視覚的特性や大衆にとっての景色の質を大幅に低下させるか。（「大衆にとっての景色」とは、一般大衆がアクセス可能な見晴らしの良い場所から望めるものを指す。）本プロジェクトは、都市部で実施される場合、区画規制や景観の質に関して適用されるその他の規制に抵触するか。	<b>CEQA :</b> 建設により、影響を受けるエリアの視覚的特性や景観の質が一時的に変容する可能性がある。	緩和措置VA-3（LAUSにおける修景）、VA-4（建設工事現場の遮蔽）、NOI-8（騒音防止計画）	<b>CEQA :</b> すべての建設代替案において、緩和措置実施後は重大な影響なし。
	本プロジェクトは、日中または夜間における近隣の景観に悪影響を及ぼす新たな強い光を発したり、まぶしさをもたらすか。	<b>CEQA :</b> 夜間工事は、影響を受けるエリアの夜間照明やまぶしさを増加させ、一時的に視界に影響を及ぼす可能性がある。	緩和措置VA-5（建設工事の照明）	<b>CEQA :</b> すべての建設代替案において、緩和措置実施後は重大な影響なし。

	特定された影響の概要	緩和措置実施前の影響	緩和措置	緩和措置実施後に残存する影響
大気質	建設により、基準汚染物質やオゾン前駆物質の排出と、悪臭や粉塵による不快感に関連する影響が考えられる。	<b>NEPA</b> : 建設時は、土木機械や車両からの排気、アスファルト舗装などにより、大気汚染物質が排出される。代替案1および2における運搬トラックからの排気は、SCAQMDが定める1日あたりのNO <sub>x</sub> 排出量の閾値を超える。	緩和措置AQ-1 (自動車排出ガス) による低排出の工事車両	<b>NEPA</b> : 建設活動は、代替案1および2において緩和措置実施後もなお、基準汚染物質やオゾン前駆物質の排出に関連する一時的な悪影響をもたらす可能性がある。
	本プロジェクトは、適用される大気質計画に抵触したり、その実施を妨害するか。	<b>CEQA</b> : 代替案1および2における運搬トラックからの排気は、SCAQMDが定める1日あたりのNO <sub>x</sub> 排出量の閾値を超える。	緩和措置AQ-1 (自動車排出ガス) による低排出の工事車両	<b>CEQA</b> : 代替案1および2において、緩和措置実施後も重大な影響を回避不能。
	本プロジェクトは、適用される連邦または州の環境大気質基準に照らして該当地域が未達成である基準汚染物質に、累積的に大幅な純増加をもたらすか。	<b>CEQA</b> : 代替案1および2の建設により、NO <sub>x</sub> の地域排出に関連する大気質への影響は重大かつ回避不能である。	緩和措置AQ-1 (自動車排出ガス) による低排出の工事車両	<b>CEQA</b> : 代替案1および2において、緩和措置実施後も重大な影響を回避不能。
	本プロジェクトは、センシティブレセプター (特に敏感に反応する対象) を高濃度の汚染物質にさらすか。	<b>CEQA</b> : 地域排出と局所排出のいずれも、センシティブレセプターを高濃度の汚染物質にさらすことはない。	緩和措置AQ-1 (自動車排出ガス) による低排出の工事車両	<b>CEQA</b> : すべての建設代替案において、緩和措置実施後は重大な影響なし。
	本プロジェクトは、その他の排気 (悪臭をもたらすものなど) を引き起こし、多くの人々に悪影響を及ぼすか。	<b>CEQA</b> : 建設活動は、甚大な悪臭や目に見える粉塵を発生させない。	不要	<b>CEQA</b> : すべての建設代替案において、重大な影響なし。
温室効果ガス (GHG) 排出	建設活動に伴い、機材や作業員の移動、施工法によるGHG排出に関連する影響が考えられる。	<b>NEPA</b> : エネルギー効率の高い大量輸送システムを構築するために一時的なGHG排出が生じるが、輸送手段の変更によって長期的なGHGの地域排出は減少する。	不要	<b>NEPA</b> : すべての建設代替案において、悪影響なし。

	特定された影響の概要	緩和措置実施前の影響	緩和措置	緩和措置実施後に残存する影響
	本プロジェクトは、環境に重大な影響を及ぼしうるレベルで、直接的または間接的にGHGを排出するか。	<b>CEQA :</b> エネルギー効率の高い大量輸送システムを構築するために一時的なGHG排出が生じるが、これによって長期的なGHGの地域排出は減少する。	不要	<b>CEQA :</b> すべての建設代替案において、重大な影響なし。
	本プロジェクトは、GHG排出量削減のために採択されている計画や政策、規制に抵触するか。	<b>CEQA :</b> 建設は、GHG削減計画または政策、規制を阻害しない。	不要	<b>CEQA :</b> すべての建設代替案において、重大な影響なし。
騒音と振動	建設による一時的な影響として、工事騒音による深刻な不快感やストレス、振動による損害や不快感などが考えられる。	<b>NEPA :</b> 工事騒音レベルは、影響基準を超える可能性がある。工事騒音は、コミュニティの不快感、および場合によってはストレスを増大させ、影響を受けやすい該当用途におけるストレス関連疾患の可能性を高めるおそれがある。 工事による振動は、重大ではない短期的な不快感をもたらす可能性がある。振動によって建物の損傷が生じる可能性は低い。	緩和措置NOI-8（騒音防止計画）、VIB-3からVIB-7（振動防止計画、建築基礎への衝撃装置またはドリルの使用最小化、建設工事の振動制限、建設活動のモニタリングなど）	<b>NEPA :</b> すべての建設代替案において、緩和措置実施後も騒音による悪影響が残存。
	本プロジェクトは、一時的または恒久的に近隣区域の周辺騒音レベルを大幅に高め、FTAまたは地方の一般的な計画や騒音条例が定めた基準を上回るか。	<b>CEQA :</b> 建設により、FTAの基準（および、該当する場合は地方の騒音条例が定めた基準）を超える周辺騒音レベルが一時的かつ断続的に増加する。	緩和措置NOI-8（騒音防止計画）	<b>CEQA :</b> すべての建設代替案において、緩和措置実施後も重大な影響を回避不能。

	特定された影響の概要	緩和措置実施前の影響	緩和措置	緩和措置実施後に残存する影響
	本プロジェクトによって、過度の地盤振動または地盤騒音が生じるか。	<b>CEQA</b> : 振動によって建物の損傷が生じる可能性は低い。	緩和措置VIB-3からVIB-7 (振動防止計画、建築基礎への衝撃装置またはドリルの使用最小化、建設工事の振動制限、建設活動のモニタリングなど)	<b>CEQA</b> : すべての建設代替案において、緩和措置実施後は重大な影響なし。
	私有滑走路または空港土地利用計画対象地の近く (かかる計画が採択されていない場合は、公共の空港または公共利用可能な空港から2マイル以内の場所) でプロジェクトが実施される場合、本プロジェクトは、同じエリア内に居住または勤務する人々を過度の騒音にさらすか。	<b>CEQA</b> : プロジェクト対象エリアから2マイル以内の範囲に公共の空港や私有滑走路はない。	不要	<b>CEQA</b> : すべての建設代替案において、影響なし。
生態系・生物資源	建設は、コウモリや営巣鳥類、域内の水資源、保護樹木に影響を及ぼす可能性がある。	<b>NEPA</b> : 建設代替案は、コウモリの出産・子育てや幼獣、および営巣鳥類に悪影響を及ぼす可能性がある。代替案1、2、3は域内の3つの資源を横断するが、代替案4はサンガブリエル川のみを横断する。 建設に関連する栈橋や土石壁は、域内の水資源を恒久的に埋め立てる。 代替案1および2で推定110本、代替案3で85本、代替案4で75本の樹木が影響を受ける可能性がある。	緩和措置BIO-1 (特別種のコウモリ)、BIO-2 (営巣鳥類)、BIO-3 (域内の資源)、BIO-4 (保護樹木)	<b>NEPA</b> : すべての建設代替案において、緩和措置実施後は悪影響なし。

	特定された影響の概要	緩和措置実施前の影響	緩和措置	緩和措置実施後に残存する影響
	<p>本プロジェクトは、地方もしくは地域の計画や政策、規制において、またはカリフォルニア州魚類野生生物局（CDFW）もしくは米国魚類野生生物局（FWS）によって、候補種（candidate）または要注意種（sensitive）、特別種（special）に指定された生物に対し、直接的にまたは生息地改変を通じて甚大な悪影響を及ぼすか。</p>	<p><b>CEQA :</b> 本プロジェクトの建設中において、ウェスタンマスチフバットの出産・子育てや営巣鳥類への影響が生じる可能性がある。</p>	<p>緩和措置BIO-1（特別種のコウモリ）、BIO-2（営巣鳥類）</p>	<p><b>CEQA :</b> すべての建設代替案において、緩和措置実施後は重大な影響なし。</p>
	<p>本プロジェクトは、地方もしくは地域の計画や政策、規制において、またはカリフォルニア州魚類野生生物局（CDFW）もしくは米国魚類野生生物局（FWS）によって指定された、水辺の生物生息環境またはその他の保護すべき自然群落に甚大な悪影響を及ぼすか。</p>	<p><b>CEQA :</b> 本プロジェクトは開発が進んだ都市部で実施されるため、水辺の植物の在来種や野生生物にとって良質な生息地は存在しない。保護すべき自然群落への影響は生じない。</p>	<p>不要</p>	<p><b>CEQA :</b> すべての建設代替案において、影響なし。</p>

	特定された影響の概要	緩和措置実施前の影響	緩和措置	緩和措置実施後に残存する影響								
	<p>本プロジェクトは、州または連邦によって保護された湿地帯（沼地や季節性の湿地、沿岸湿地を含むがこれらに限定されない）に対し、直接的な除去または埋め立て、水文学的介入、その他の手段で甚大な悪影響を及ぼすか。</p>	<p><b>CEQA :</b> 建設は域内の水資源の横断を伴い、以下の面積（エーカー）の埋め立てを必要とする。</p> <table border="0"> <tr> <td>代替案1</td> <td>0.12</td> </tr> <tr> <td>代替案2</td> <td>0.12</td> </tr> <tr> <td>代替案3</td> <td>0.12</td> </tr> <tr> <td>代替案4</td> <td>0.02</td> </tr> </table> <p>これらの値は、設計およびMSFのオプションによって変化しない。</p>	代替案1	0.12	代替案2	0.12	代替案3	0.12	代替案4	0.02	<p>緩和措置BIO-3（域内の資源）</p>	<p><b>CEQA :</b> すべての建設代替案において、緩和措置実施後は重大な影響なし。</p>
代替案1	0.12											
代替案2	0.12											
代替案3	0.12											
代替案4	0.02											
	<p>本プロジェクトは、定住生物や回遊魚、移動性野生生物の移動、または定住生物や移動性野生生物の通路を深刻に妨害したり、野生生物の営巣地の使用を阻害するか。</p>	<p><b>CEQA :</b> 建設代替案が、定住生物や回遊魚、移動性野生生物の移動、または定住生物や移動性野生生物の通路を妨害したり、野生生物の営巣地の使用を阻害することはない。</p>	<p>不要</p>	<p><b>CEQA :</b> すべての建設代替案において、影響なし。</p>								
	<p>本プロジェクトは、生物資源保護に関する地方の政策または条例（樹木の保全政策または条例など）に抵触するか。</p>	<p><b>CEQA :</b> 影響を受けるエリアには、ロサンゼルス、ハンティントン・パーク、ベル、サウス・ゲート、ダウニー、ベルフラワー、セリトス各市の保護対象の街路樹が存在する。建設には、街路樹の剪定または撤去が必要となる可能性がある。</p>	<p>緩和措置BIO-4（保護樹木）</p>	<p><b>CEQA :</b> すべての建設代替案において、重大な影響なし。</p>								
	<p>本プロジェクトは、採択されている生息地保全計画（HCP）や自然群落保全計画（NCCP）、地方または地域、州で承認済みのその他の生息環境保全計画の条項に抵触するか。</p>	<p><b>CEQA :</b> 本プロジェクトは、採択されている生息地保全計画（HCP）や自然群落保全計画（NCCP）、承認済みのその他の生息環境保全計画の対象エリアでは実施されない。</p>	<p>不要</p>	<p><b>CEQA :</b> すべての建設代替案において、影響なし。</p>								

	特定された影響の概要	緩和措置実施前の影響	緩和措置	緩和措置実施後に残存する影響
地質工学的側面 および地下、地震	建設は、自然発生ガスや、未固結土壌および沖積飽和土に影響を及ぼす可能性がある。	<b>NEPA :</b> 代替案1および2の影響を受けるエリアに、有害な地中ガスが存在する。 代替案1および2におけるトンネル工事または深部掘削中に、中程度または高い確率で油の浸出やガスの自然発生が起こる。建設代替案の建設工事は、近隣の既存の改良工事を妨害するような地盤沈下を引き起こした場合、未固結土壌および沖積飽和土に関連する悪影響をもたらす可能性がある。 代替案1および2の建設は沖積土のトンネル掘削を伴い、これによって地盤の崩壊または流動が発生し、結果的に地盤が消失する可能性がある。	緩和措置GEO-5（ガスモニタリング [建設]）	<b>NEPA :</b> すべての建設代替案において、緩和措置実施後は悪影響なし。
	州の地質学者が発行した該当エリアに関する最新のアルキスト-プリオロ地震断層帯分帯図に示される既知の地震断層の断裂、または既知の断層を示すその他の実質的証拠に照らして、本プロジェクトは、これらに関連する甚大な潜在的悪影響（損害または負傷、死亡のリスクなど）を直接的または間接的にもたらすか。	<b>CEQA :</b> 建設は、影響を受けるエリアの断層に重大な影響を及ぼさない。	不要	<b>CEQA :</b> すべての建設代替案において、重大な影響なし。
	本プロジェクトは、地震による強い地面の震動に関連する損害または負傷、死亡などの甚大な潜在的悪影響を直接的または間接的にもたらすか。	<b>CEQA :</b> 建設は、影響を受けるエリアにおける地震の可能性に重大な影響を及ぼさない。	不要	<b>CEQA :</b> すべての建設代替案において、重大な影響なし。

	特定された影響の概要	緩和措置実施前の影響	緩和措置	緩和措置実施後に残存する影響
	本プロジェクトは、液状化などの地盤震害に関連する損害または負傷、死亡などの甚大な潜在的悪影響を直接的または間接的にもたらすか。	<b>CEQA :</b> 建設は、影響を受けるエリアの地質学的環境に重大な影響を及ぼさない。	不要	<b>CEQA :</b> すべての建設代替案において、重大な影響なし。
	本プロジェクトは、地滑りに関連する損害または負傷、死亡などの甚大な潜在的悪影響を直接的または間接的にもたらすか。	<b>CEQA :</b> 建設は、影響を受けるエリアの未固結土壌および沖積飽和土に重大な影響を及ぼさない。	不要	<b>CEQA :</b> すべての建設代替案において、重大な影響なし。
	本プロジェクトは、甚大な土壌浸食または表土の流出を引き起こすか。	<b>CEQA :</b> 建設は都市部で行われるため、影響を受けるエリアの大半にある表土層は過去の人的活動により破壊または被覆されている。	不要	<b>CEQA :</b> すべての建設代替案において、重大な影響なし。
	本プロジェクトは、不安定な、あるいはプロジェクトの結果として不安定になる地質単元または土壌に位置し、用地内外での地滑りや側方流動、地盤沈下、液状化、崩壊につながる可能性があるか。	<b>CEQA :</b> 建設は、用地内外での側方流動や地盤沈下、液状化または崩壊、地盤震害（液状化を含む）の可能性に関連する既存の地質条件を悪化させない。	不要	<b>CEQA :</b> すべての建設代替案において、重大な影響なし。
	本プロジェクトは、統一建築基準法（1994年）の表18-1-Bで定義された膨張土上にあり、人命または財産に甚大な直接的・間接的リスクをもたらすか。	<b>CEQA :</b> 建設は、影響を受けるエリアにおける土壌の広範な潜在力に重大な影響を及ぼさない。	不要	<b>CEQA :</b> すべての建設代替案において、重大な影響なし。

	特定された影響の概要	緩和措置実施前の影響	緩和措置	緩和措置実施後に残存する影響
	<p>廃水処理に下水管を使用できない場合、浄化槽または廃水処理システムを代替とする際に、その使用に十分に対応できない土壌が本プロジェクトに含まれるか。</p>	<p><b>CEQA :</b> 建設は、既存の市営下水システムを利用する高度に都市化されたエリアで実施される。</p>	不要	<p><b>CEQA :</b> すべての建設代替案において、影響なし。</p>
危険および有害物質	<p>建設は、既知および将来的、歴史的な懸念対象区域や、埋め立て地、地下水汚染、有害物質、油井・ガス井、油田・ガス田に影響を及ぼす可能性がある。</p>	<p><b>NEPA :</b> 既知および将来的、歴史的な環境関連の懸念対象区域が、代替案1に619か所、代替案2に634か所、代替案3に298か所、代替4に79か所ある。</p> <p>解体時に、LBPおよびアスベスト/ACM、PCBが発生したり使用される可能性が高い。建設代替案は、鉄道沿線の一般的な汚染物質や、有害物質パイプラインの移転または妨害により、土壌や地下水に影響を及ぼす可能性がある。また、歴史的農業立地の攪乱は、農薬やヒ素、鉛に関連する悪影響をもたらす可能性がある。</p> <p>代替案1および2から200フィート以内に廃油井および廃ガス井が3つあり、代替案3から200フィート以内にも1つあることが確認されている。代替案1および2の地下トンネルや駅の近くに、油井・ガス井や油田・ガス田、有害な地中ガスが存在する可能性があり、悪影響が生じるおそれがある。</p>	緩和措置HAZ-1（トンネルエリア内の油井・ガス井）、GEO-2（構造設計）、GEO-5（ガスモニタリング [建設]）	<p><b>NEPA :</b> すべての建設代替案において、緩和措置実施後は悪影響なし。</p>
	<p>本プロジェクトは、有害物質の定期的な輸送、使用、廃棄により公衆または環境に重大な危険をもたらすか。</p>	<p><b>CEQA :</b> 有害物質は適切に管理される。地中ガスの換気には追加の制御措置が必要となる。代替案1および2の建設は、公衆や環境を地中ガスにさらす可能性がある。</p>	緩和措置HAZ-1（トンネルエリア内の油井・ガス井）、GEO-2（構造設計）、GEO-5（ガスモニタリング [建設]）	<p><b>CEQA :</b> すべての建設代替案において、緩和措置実施後は重大な影響なし。</p>

	特定された影響の概要	緩和措置実施前の影響	緩和措置	緩和措置実施後に残存する影響
	本プロジェクトは、環境への有害物質の放出に関連する合理的に予見可能な異常な状態により、公衆または環境に重大な危険をもたらすか。	<b>CEQA :</b> 建設チームは、工事中に燃料や塗料・塗膜、溶剤、溶接材料などの有害物質を使用する可能性がある。代替案1および2では、トンネルエリアから有害な地中ガスが誤って放出される可能性がある。	緩和措置HAZ-1（トンネルエリア内の油井・ガス井）、GEO-2（構造設計）、GEO-5（ガスモニタリング [建設]）	<b>CEQA :</b> すべての建設代替案において、緩和措置実施後は重大な影響なし。
	本プロジェクトは、既存または提案された学校の4分の1マイル以内で、有害大気汚染物質を排出したり、有害／急性有害材料または物質、廃棄物を処理したりするか。	<b>CEQA :</b> 建設は、既存または提案された学校から0.25マイル以内において、規定量を超えて有害物質を排出したり、有害／急性有害材料または物質、廃棄物を処理することを必要としない。	不要	<b>CEQA :</b> すべての建設代替案において、重大な影響なし。
	本プロジェクトは、政府規約第65962.5項に従って作成された、有害物質取扱施設のリストに含まれる用地に位置し、その結果、公衆または環境に重大な危険をもたらすか。	<b>CEQA :</b> 環境関連の懸念対象区域における建設の影響として、建設作業員または公衆が土壌や土壌ガス、地下水に含まれる化合物にさらされる可能性が考えられる。有害物質や影響を受けた地下水、汚染土壌を建設中に適切に管理した場合、重大な影響はない。	不要	<b>CEQA :</b> すべての建設代替案において、重大な影響なし。
	空港土地利用計画対象地内（かかる計画が採択されていない場合は、公共の空港または公共利用可能な空港から2マイル以内の場所）でプロジェクトが実施される場合、本プロジェクトは、同じエリアに居住または勤務する人々を安全上の危険または過度の騒音にさらすか。	<b>CEQA :</b> 建設代替案実施エリアの2マイル以内に空港はない。	不要	<b>CEQA :</b> すべての建設代替案において、影響なし。

	特定された影響の概要	緩和措置実施前の影響	緩和措置	緩和措置実施後に残存する影響
	本プロジェクトは、採択されている緊急対応計画または緊急避難計画の実施を阻害したり、これらを物理的に妨害するか。	<b>CEQA :</b> 一時的な建設作業によって、緊急対応計画や緊急避難計画に影響が及ぶ可能性がある。	不要	<b>CEQA :</b> すべての建設代替案において、重大な影響なし。
	本プロジェクトにより、直接的または間接的に、人や構築物が原野火災に関連する損害または負傷、死亡などの重大なリスクにさらされるか。	<b>CEQA :</b> 建設代替案実施エリア近隣に原野はない。	不要	<b>CEQA :</b> すべての建設代替案において、影響なし。
水資源	建設活動は、水文学的事項や地表水質、氾濫原、地下水に悪影響を及ぼす可能性がある。	<b>NEPA :</b> 建設活動は、汚染物質の排出リスクを高めることで地表水の水質を低下させ、排水や汚染曝露により地下水にも悪影響を及ぼす可能性がある。  代替案1、2、3は3つの氾濫原を横断するが、代替案4はサンガブリエル川のみを横断する。河川内での建設工事は、何らかの影響をもたらす可能性がある。  本プロジェクトの設計特性とベストプラクティスの実践によって潜在的な影響は最小限に抑えられ、悪影響は生じない。	不要	<b>NEPA :</b> すべての建設代替案において、悪影響なし。
	本プロジェクトは、水質基準もしくは廃液の排出に関する要件に違反するか、または地表水や地下水の質を大幅に低下させるか。	<b>CEQA :</b> 建設は地盤を乱す工事を伴うため、露出した土壌が雨水にさらされ、浸食や沈降が起こる可能性がある。建設活動は、水質に一時的な影響を及ぼす可能性がある。所定の許可への準拠が必須となる。	不要	<b>CEQA :</b> すべての建設代替案において、重大な影響なし。

	特定された影響の概要	緩和措置実施前の影響	緩和措置	緩和措置実施後に残存する影響
	本プロジェクトが、地下水供給を大幅に低減させたり、地下水涵養を大幅に妨害したりすることで、流域の持続可能な地下水管理を妨げる可能性があるか。	<b>CEQA :</b> 建設工事現場の排水が必要な場合は、工事排水許可および適用されるその他の許可が必要となる。	不要	<b>CEQA :</b> すべての建設代替案において、重大な影響なし。
	本プロジェクトは、用地内外で大きな浸食または沈泥をもたらす形で、水路や河川の流変や不浸透面の増大により、用地またはエリアの既存の水系模様を大幅に変化させるか。	<b>CEQA :</b> 建設により、影響を受けるエリア内の不透水地域が一時的に拡大する可能性がある。	不要	<b>CEQA :</b> すべての建設代替案において、重大な影響なし。
	本プロジェクトは、水路や河川の流変や不浸透面の増大により、用地内外での洪水を引き起こすような形で表面流出率または流出量を大幅に増加させ、用地またはエリアの既存の水系模様を大幅に変化させるか。	<b>CEQA :</b> 建設により、影響を受けるエリア内の不透水地域が一時的に拡大する可能性がある。建設においては、CGPIに準拠したSWPPPを実施する。	不要	<b>CEQA :</b> すべての建設代替案において、重大な影響なし。
	本プロジェクトは、既存または計画中の雨水排水システムの容量の超過や、汚染流出の大きな原因となる流出水を生成したり、その一因となる形で、水路や河川の流変や不浸透面の増大により、用地またはエリアの既存の水系模様を大幅に変化させるか。	<b>CEQA :</b> 建設により、影響を受けるエリア内の不透水地域が一時的に拡大する可能性がある。建設においては、CGPIに準拠したSWPPPを実施する。	不要	<b>CEQA :</b> すべての建設代替案において、重大な影響なし。

	特定された影響の概要	緩和措置実施前の影響	緩和措置	緩和措置実施後に残存する影響
	本プロジェクトは、洪水の流れを阻害したり、迂回させる形で、水路や河川の流変や不浸透面の増大により、用地またはエリアの既存の水系模様を大幅に変化させるか。	<b>CEQA :</b> 建設により、影響を受けるエリア内の不透水地域が一時的に拡大する可能性がある。建設においては、CGPに準拠したSWPPPを実施する。	不要	<b>CEQA :</b> すべての建設代替案において、重大な影響なし。
	洪水の危険や津波、セッシュの発生域において、本プロジェクトは浸水による汚染物質の放出リスクをもたらすか。	<b>CEQA :</b> 建設活動が、本プロジェクトによる浸水を通じて汚染物質を放出することはない。建設用地は海から20マイル以上離れているため、セッシュや津波の影響を受ける可能性があるエリアには該当しない。	不要	<b>CEQA :</b> すべての建設代替案において、重大な影響なし。
	本プロジェクトは、水質管理計画または持続可能な地下水管理計画に抵触したり、それらの実施を妨害するか。	<b>CEQA :</b> 建設により、プロジェクト用地周囲の不透水地域が一時的に拡大する可能性がある。建設においては、CGPに準拠したSWPPPを実施する。	不要	<b>CEQA :</b> すべての建設代替案において、重大な影響なし。
エネルギー	建設活動に伴い、エネルギー消費に関連する影響が考えられる。	<b>NEPA :</b> 建設によるエネルギー消費量 (MMBTU/年) は、代替案ごとに異なる。 代替案1 1,472,110 代替案2 1,501,546 代替案3 1,045,014 代替案4 862,469 設計オプション1 (MWD) <sup>1</sup> 1,503,815 設計オプション2 (リトルトーキョーの追加) <sup>1</sup> 1,508,077	不要	<b>NEPA :</b> すべての建設代替案において、悪影響なし。

	特定された影響の概要	緩和措置実施前の影響	緩和措置	緩和措置実施後に残存する影響
	本プロジェクトは、プロジェクトの建設または運営中のエネルギー資源の無駄、非効率、または不必要な消費により、重大な環境影響をもたらす可能性があるか。	<b>CEQA :</b> 建設は、エネルギー需要を満たすためのエネルギー源やインフラの新規導入または拡張を必要とせず、エネルギー消費の無駄や非効率をもたらすことはない。	不要	<b>CEQA :</b> すべての建設代替案において、重大な影響なし。
	本プロジェクトは、再生可能エネルギーまたはエネルギー効率に関する州または地域の計画に抵触したり、それらを妨害するか。	<b>CEQA :</b> 建設は、建設活動におけるエネルギー効率に関する州および地域の計画に準拠する。	不要	<b>CEQA :</b> すべての建設代替案において、重大な影響なし。
	本プロジェクトは、電力または天然ガス、電気通信設備の移転や新規建設、拡張を必要としたり、これらを結果的にもたらし、環境に重大な影響を及ぼす可能性があるか。	<b>CEQA :</b> 建設は、エネルギー供給インフラ（発電・変圧施設からの送電線など）の新規整備または移転を必要としない。	不要	<b>CEQA :</b> すべての建設代替案において、重大な影響なし。
電磁界	建設活動により、生成される電磁界レベルに関連する影響が考えられる。	<b>NEPA/CEQA :</b> 建設工事は家電製品と同等のEMFレベルを生成する。有害/重大なレベルのEMFを引き起こすことはないと思われる。	不要	<b>NEPA/CEQA :</b> 悪影響なし/すべての建設代替案において、重大な影響なし。
歴史的・考古学的・古生物学的資源	建設による、建設環境内の歴史的建造物への影響はあるか。	<b>NEPA :</b> 建設は、既存の都市環境における歴史的建造物に重大な変化は及ぼさない。建設に関連する歴史的建造物またはその近隣区域への一時的な視覚的要素の変更は、 <b>APE</b> の歴史的建造物の特性に変化をもたらすことはない。	不要	<b>NEPA :</b> すべての建設代替案において、悪影響なし。

	特定された影響の概要	緩和措置実施前の影響	緩和措置	緩和措置実施後に残存する影響
	建設による、考古学的・歴史的建造物への影響はあるか。	<b>NEPA</b> ：建設中には、対象地域内の既知および未知の考古学的・歴史的資産に関連する考古学的埋蔵物に変化をもたらす可能性のある地盤を乱す工事を伴う。本プロジェクトの建設に伴う地盤を乱す工事中に、予期しない考古学的・歴史的資産が発見される可能性がある。既知の、または予期しない考古学的・歴史的資産を直接変更すると、悪影響が及ぶと思われる。	緩和措置CR- 1（文化的緩和およびモニタリングプログラムの開発）、CR- 2（既知の重要な考古学的資源の取り扱い）、CR- 3（考古学作業員の環境意識向上プログラム）、CR- 4（考古学的モニタリング）、CR- 5（予期しない発見の取り扱い）	<b>NEPA</b> ：すべての建設代替案において、緩和措置実施後は悪影響なし。
	建設による、古生物学的資源への影響はあるか。	<b>NEPA</b> ：建設は地盤を乱す工事を伴うため、これにより古生物学的資源が発見される可能性がある。建設代替案による建設が古生物学的資源を乱す、またはこれに破壊をもたらす場合、悪影響が生じる可能性がある。	古生物学的資源への影響緩和とモニタリングプログラム、作業員の環境意識向上プログラム、建設モニタリング、回収した化石の準備と保管を含む緩和策PR- 1は、プロジェクトによるこれら資源への悪影響を効果的に軽減する。	<b>NEPA</b> ：すべての建設代替案において、緩和措置実施後は悪影響なし。
	本プロジェクトは、第1506 4.5項で規定されている歴史的資源の重要性に甚大な悪影響をもたらすか。	<b>CEQA</b> ： 建設代替案による建設は、 <b>APE</b> の建設環境の歴史的資源に永久的な物理的变化をもたらすことはない。	不要	<b>CEQA</b> ： すべての建設代替案において、影響なし。

	特定された影響の概要	緩和措置実施前の影響	緩和措置	緩和措置実施後に残存する影響
	<p>本プロジェクトは、第1506 4.5項で規定されている考古学的資源の重要性に甚大な悪影響をもたらすか。</p>	<p><b>CEQA :</b> 建設代替案による建設は、直接的なAPE内にある既知および未知の考古学的資源に物理的影響を与える可能性のある、大幅に地盤を乱す工事を伴う。代替案1では5つの考古学的資源が、代替案2と3では1つの資源が直接的なAPEに記録されている。</p>	<p>緩和措置CR-1からCR-5には、文化的資源への影響緩和とモニタリングプログラムの開発、既知の重要な考古学的資源の取り扱い、作業員の環境意識向上プログラム、考古学的モニタリング、予期しない発見の取り扱いが含まれる。</p>	<p><b>CEQA :</b> すべての建設代替案において、緩和措置実施後は重大な影響なし。</p>
	<p>本プロジェクトは、墓地以外の場所に埋葬されているものも含め、遺骨を乱すことがあるか。</p>	<p><b>CEQA :</b> 建設工事は、直接的APEに埋葬された遺骨を物理的に変化させる、または除去、破壊する可能性がある。代替案1の直接的APEには、先史時代のネイティブアメリカンの墓地が1つ記録されている。代替案による建設は、遺骨の発見に関する既存の州規制を遵守する。</p>	<p>不要</p>	<p><b>CEQA :</b> すべての建設代替案において、重大な影響なし。</p>
	<p>本プロジェクトは、固有の古生物学的資源や埋蔵地、固有の地質学的特徴を直接的または間接的に破壊するか。</p>	<p><b>CEQA :</b> 古生物学的資源に対する建設工事の影響は、立ち退きが必要となる整地、発掘、掘削、大口径のドリリングなどの工事で最大となる。</p>	<p>古生物学的資源への影響緩和とモニタリングプログラム、作業員の環境意識向上プログラム、建設モニタリング、回収した化石の準備と保管を含む緩和策PR-1は、プロジェクトによるこれら資源への重大な影響を効果的に軽減する。</p>	<p><b>CEQA :</b> すべての建設代替案において、緩和措置実施後は重大な影響なし。</p>

	特定された影響の概要	緩和措置実施前の影響	緩和措置	緩和措置実施後に残存する影響
部族文化資源	建設による、既知の伝統文化財に関連する影響。	<b>NEPA</b> : 本プロジェクトによって影響を受けるエリアでは、伝統文化財は特定されていない。そのため、建設による伝統文化財への影響はない。	緩和措置TCR- 1 (ネイティブアメリカンのモニタリング) 、TCR- 2 (予期しない部族文化資源の発見) 、CR- 1 (文化資源への影響緩和、モニタリングプログラムの開発) 、CR- 2 (既知の重要な考古学資源の取り扱い)	<b>NEPA</b> : すべての建設代替案において、緩和措置実施後は悪影響なし。
	本プロジェクトは、公的資源法第21074項で規定された部族文化資源の重要性に対し、重大な悪影響を及ぼすか。つまり、カリフォルニア州ネイティブアメリカンにとって文化的価値があり、景観、聖地、物体の規模・範囲の点で地理的に定義される、土地、特徴、場所、文化的景観として地理的に定義される地域、特徴、場所、または文化的景観の重要性に重大な悪影響を及ぼすか。具体的には、以下の点について検討する。	<b>CEQA</b> : 代替案1と設計オプション1では、部族文化資源であると推定される資源が影響を受けるエリア内で1つ特定されている。代替1または設計オプション1の建設がこの資源に影響を及ぼす可能性がある。他の資源は特定されていない。代替案2、3、4、または設計オプション2、またはパラマウント、またはベルフラワーMSF用地オプションによって影響を受けるエリアでは、部族文化資源は特定されていない。これらの代替案、設計オプション、およびMSF用地オプションの構築は、既知の部族文化資源に重大な影響を及ぼすことはない。	緩和措置TCR- 1 (ネイティブアメリカンのモニタリング) 、TCR- 2 (予期しない部族文化資源の発見) 、CR- 1 (文化資源への影響緩和、モニタリングプログラムの開発) 、CR- 2 (既知の重要な考古学資源の取り扱い)	<b>CEQA</b> : すべての建設代替案において、緩和措置実施後は重大な影響なし。

	特定された影響の概要	緩和措置実施前の影響	緩和措置	緩和措置実施後に残存する影響
	<p>a) カリフォルニア州歴史資源登録簿、または公的資源法第5020.1項(k)で定められた地域歴史資源登録簿に明記されている、または明記される資格がある、または</p> <p>b) 主導機関は、公的資源法第5024.1項(c)で定められた基準に従って、その裁量により重要であると判断した資源が実質的証拠によって支持される場合、カリフォルニア州ネイティブアメリカンにとっての資源の重要性を考慮するものとする。</p>			
公園およびコミュニティ施設	建設工事は、公園やコミュニティ施設へのアクセスや駐車に影響を及ぼす。	<p><b>NEPA</b> : 建設代替案の建設工事は、既存の建物に永続的に影響を与えず、公園、レクリエーション施設、自転車施設、コミュニティ施設を恒久的に乱すことはなく、悪影響も及ぼさない。建設工事は、公園やレクリエーション施設の大気質、騒音、振動に間接的な影響を及ぼさない。建設関連の交通、迂回路、車線閉鎖、歩道迂回路、自転車施設迂回路は、公園、レクリエーション施設、コミュニティ施設へのアクセスと駐車に影響を及ぼし、悪影響をもたらす可能性がある。</p>	緩和措置COM-1 (建設アウトリーチ計画)	<b>NEPA</b> : すべての建設代替案において、緩和措置実施後は悪影響なし。

	特定された影響の概要	緩和措置実施前の影響	緩和措置	緩和措置実施後に残存する影響
	本プロジェクトは、公園やレクリエーション施設に許容される基準を維持する上で、政府施設の新規提供もしくは物理的改造の実施、または政府施設の新規提供もしくは物理的改造の必要性に関連する甚大な物理的悪影響を及ぼすか。	<b>CEQA :</b> 建設区域内における歩行者・自転車アクセスルートは、建設中一時的に閉鎖されることが見込まれる。また、公園、レクリエーション施設、自転車施設、コミュニティ施設への訪問者が利用できる路外駐車場は、建設期間中一時的に利用不可能となる可能性がある。	緩和措置COM-1（建設アウトリーチ計画）	<b>CEQA :</b> すべての建設代替案において、緩和措置実施後は重大な影響なし。
	本プロジェクトは、施設の実質的な物理的劣化が発生する、または加速するほどに、既存の近隣・広域公園、その他のレクリエーション施設の利用を増加させるか。	<b>CEQA :</b> 建設によって、既存の近隣・広域公園、その他のレクリエーション施設の利用を増加させ、施設の物理的劣化を加速するほどに住民が増加することはない。	不要	<b>CEQA :</b> すべての建設代替案において、重大な影響なし。
	本プロジェクトでは、環境に物理的悪影響を及ぼすようなレクリエーション施設の建設、または既存のレクリエーション施設の拡張が必要となるか。	<b>CEQA :</b> 建設は一時的なもので、レクリエーション施設の建設も、既存のレクリエーション施設の拡張も必要としない。	不要	<b>CEQA :</b> すべての建設代替案において、影響なし。
経済および財政への影響	建設による地域的な経済効果と、プロジェクトによる局所的な効果をもたらされる。	<b>NEPA :</b> 建設期間中には、雇用、収入、経済産出量を増加させる実質的な資本投資が地域経済にもたらされる。建設工事は、アクセスの変更、および周辺地域に一時的な影響を及ぼす潜在的な輸送遅延をもたらす可能性がある。	緩和措置COM-1（建設アウトリーチ計画）およびTRA-23（駐車場減少 [建設]）	<b>NEPA :</b> すべての建設代替案において、緩和措置実施後は悪影響なし。

	特定された影響の概要	緩和措置実施前の影響	緩和措置	緩和措置実施後に残存する影響
	本プロジェクトによって、地域の移動性と接続性に重大な影響が生じるか。	<b>CEQA :</b> 建設工事は、アクセスの変更、および周辺地域に一時的な影響を及ぼす潜在的な輸送遅延をもたらす可能性がある。	緩和措置COM-1 (建設アウトリーチ計画) およびTRA-23 (駐車場減少 [建設])	<b>CEQA :</b> すべての建設代替案において、緩和措置実施後は重大な影響なし。
	本プロジェクトは、企業や住宅に対し、既存の環境を物理的に劣化させるような、重大な建設関連の影響をもたらすか。	<b>CEQA :</b> 建設支出の効果は地域経済全体にとってプラスになるが、建設代替案による建設は、活発な建設地域の近隣にある企業や住宅に影響を及ぼす可能性がある。建設には、プロジェクトの路線、建設資材置き場、トンネル入り口、駐車場などのため追加の用地が必要となる。その結果、企業や住居の立ち退きが発生する。	緩和措置COM-1 (建設アウトリーチ計画) およびTRA-23 (駐車場減少 [建設])	<b>CEQA :</b> すべての建設代替案において、緩和措置実施後は重大な影響なし。
安全性・保安	建設関連の活動や状態による、歩行者、自転車、自動車の安全、緊急対応サービス、犯罪に対する保安と予防への影響の可能性。	<b>NEPA :</b> 建設代替案は、歩行者、自転車、自動車の通行を誘導するための事前通知および標識、障壁、フェンスの設置を実施し、安全への一時的な影響を低減する。ただし、これらの方法によって、安全な通学路が妨害または阻止され、悪影響が生じる可能性がある。建設代替案は緊急対応サービスに悪影響を及ぼすことはない。建設現場では、CCTV、現場の警備員と保安チーム、治安と犯罪防止に関連する影響を低減するための境界フェンスなどの安全対策が行われる。	緩和措置COM-1 (建設アウトリーチ計画)、SAF-2 (学区調整)、SAF-3 (建設現場措置)	<b>NEPA :</b> すべての建設代替案において、緩和措置実施後は悪影響なし。
	本プロジェクトは、採択されている緊急対応計画または緊急避難計画の実施を阻害したり、これらを物理的に妨害するか。	<b>CEQA :</b> 一時的な建設作業によって、緊急対応計画や緊急避難計画に影響が及ぶ可能性がある。	不要	<b>CEQA :</b> すべての建設代替案において、重大な影響なし。

	特定された影響の概要	緩和措置実施前の影響	緩和措置	緩和措置実施後に残存する影響
	本プロジェクトは、消防や警察の保護業務における応答時間やその他のパフォーマンス目標を維持する上で、政府施設の新規提供もしくは物理的改造の実施、または政府施設の新規提供もしくは物理的改造の必要性に関連する甚大な物理的悪影響を及ぼすか。	<b>CEQA :</b> 消防や警察の保護業務における応答時間やその他のパフォーマンス目標を維持するための、政府施設の新設や物理的改造等の建設関連活動は行われない。	不要	<b>CEQA :</b> すべての建設代替案において、影響なし。
	本プロジェクトの幾何構造設計特性（急カーブ、危険な交差点など）や適合外の使用（農業機械など）により、危険性が大幅に増加するか。	<b>CEQA :</b> 歩行者、自転車、自動車の安全に影響を及ぼす可能性のある一時的な建設関連の活動と状態。	緩和措置COM-1（建設アウトリーチ計画）、SAF-2（学区調整）、SAF-3（建設現場措置）	<b>CEQA :</b> すべての建設代替案において、緩和措置実施後は重大な影響なし。

出典：Metroの代理で2021年に編集

注：<sup>1</sup> 設計オプション1および2の合計データには、各設計オプションによる代替案1路線の値が含まれる。

ACM = アスベスト含有物質、APE = 影響を受ける可能性のあるエリア、CCTV = 閉回路テレビ、CEQA = カリフォルニア州環境品質法、CGP = 建設一般許可、EMF = 電磁界、FTA = 連邦交通局、GHG = 温室効果ガス、LBP = 含鉛塗料、MMBTU = 100万英サーマルユニット、MSF = 保守貯蔵施設、MWD = メトロポリタン水道局、NEPA = メトロポリタン水道局、NOx = 窒素酸化物、PCB = ポリ塩化ビフェニル、ROW = 鉄道用地、SCAQMD = 南岸大気管理局、SWPPP = 雨水汚染防止計画

表S.5.成長誘導影響、累積影響、環境正義影響と緩和措置

	特定された影響の概要	緩和措置実施前の影響	緩和措置	緩和措置実施後に残存する影響
成長誘導影響	本プロジェクトは、経済や人口増加、または周囲の環境において直接的または間接的に新たな住宅の建設を促進する可能性があるか。	<b>NEPA/CEQA</b> ：鉄道新設は人口および住宅の増加と密接に関連しているため、プロジェクトの沿線で人口、住宅、雇用の増加が予想される。建設代替案は、予想される人口、住宅、雇用増加に対応するための交通インフラプロジェクトである。すでに予測されている以上の成長誘引影響や、想定外の成長は生じないと思われる。	不要	<b>NEPA/CEQA</b> ：すべての建設代替案において、緩和措置実施後は悪影響なし。
累積影響	特定された過去、現在、そして合理的に予見可能な将来のプロジェクトのすべてを考慮した場合、本プロジェクトはこれらに重大な影響を及ぼすか。	<b>NEPA/CEQA</b> ：建設代替案は、土地利用、コミュニティと近隣区域、資産の取得と立ち退き、景観・美観、大気質、GHG、騒音と振動、生態系・生物資源、地質工学的側面および地下、地震の危険、危険および有害物質、水資源、エネルギー、歴史的・考古学的・古生物学的資源、部族文化資源、公園・コミュニティ施設、安全性・保安、経済・財政、環境正義に累積影響を及ぼす可能性がある。	緩和措置LU- 1 (自転車計画の整合)、VA-3 (LAUSにおける修景)、VA-4 (建設工事現場の遮蔽)、VA-5 (建設工事の照明)、NOI-1からNOI-7、(防音壁、低衝撃フロッグ、車輪が発する高周波音のモニタリング、踏切や遮断機の警報音停止方法の変更、TPSSの騒音低減など)、GEO-1からGEO-5 (有害ガス検知、構造設計、ガスモニタリング、トンネル諮問委員会など)、HAZ-1 (トンネルエリア内の油井・ガス井)、SAF-1 (侵入検知)、SAF-2 (学区調整)、SAF-3 (建設現場措置)、AQ-1 (自動車排出ガス)、VIB-3からVIB-7 (振動防止計画、建築基礎への	<b>NEPA/CEQA</b> ：プロジェクト実施中、輸送、土地利用、騒音、振動、公園、コミュニティ施設には、重大な累積影響が及ぶと思われる。 建設中には、交通および大気質 (代替案1と2のみNO <sub>x</sub> 排出)、騒音、経済・財政に、多大な累積影響 (有益な累積効果) があるものと思われる。

	特定された影響の概要	緩和措置実施前の影響	緩和措置	緩和措置実施後に残存する影響
			<p>衝撃装置またはドリルの使用最小化、建設工事の振動制限、建設活動のモニタリングなど)、B IO-1からBIO-4 (特別種のコウモリ、営巣鳥類、域内の資源、保護樹木など)、PR-1 (古生物学的資源への影響緩和とモニタリングプログラム、作業員の環境意識向上プログラム、建設モニタリング、回収した化石の準備と保管など)、CR-1からCR-6 (文化的資源への影響緩和とモニタリングプログラムの開発、既知の重要な考古学的資源の取り扱い、作業員の環境意識向上プログラム、考古学的モニタリング、予期しない発見の取り扱いなど)、TCR-1 (ネイティブアメリカンのモニタリング)、TCR-2 (予期しない部族文化資源の発見)、COM-1 (建設アウトリーチ計画)、TRA-23 (駐車場減少 [建設])</p>	
環境正義	環境正義コミュニティに対し、不均衡に高く有害な影響が及ぶ可能性はあるか。	NEPA : プロジェクト実施中、交通運行や駐車、土地利用の一貫性、公園、コミュニティ、立ち退き・資産取得、景観、騒音と振動レベルに関連して環境正義コミュニティに悪影響が及ぶと思われる。	緩和措置TRA-1からTRA-19 (特定の交差点の改善)、TRA-20 (交通管理計画)、TRA-21 (駐車場スペースのモニタリングおよびコミュニティアウトリーチ)、TRA-22 (駐車緩和プログラム [恒	NEPA : 代替案1、2、3、設計オプション1および2に対する緩和措置TRA-1からTRA-20の実施後は、交差点の改善と交通運行に関してハンティントン・パークの環境正義コミュニティに不均衡に高く有害な影響が生じる。これに対

	特定された影響の概要	緩和措置実施前の影響	緩和措置	緩和措置実施後に残存する影響
		<p>建設中、環境正義コミュニティは、大気質（代替案1および2）、交通、土地利用、立ち退き・資産取得、コミュニティと近隣区域、騒音・振動、生態系・生物資源、公園・コミュニティ施設、安全性・保安に関連して環境正義コミュニティに悪影響が及ぶと思われる。</p> <p>ハンティントン・パークの環境正義コミュニティにおける交差点改善と交通運行に関する悪影響は、影響を受ける交差点に集中しているため、プロジェクト回廊沿いの他の影響を受けるコミュニティよりも明らかに深刻または甚大となると思われる。そのため、ハンティントン・パークの環境正義コミュニティに不均衡に高い悪影響を及ぼすことになる。</p> <p>その他の環境正義コミュニティに対する悪影響は、本プロジェクトの回廊沿いに位置する他の影響を受けるコミュニティよりも明らかに深刻または甚大であるということはない（これらのコミュニティはすべて環境正義コミュニティである）。本プロジェクトが不均衡に高く有害な影響を他の環境正義コミュニティにもたらすことはない。悪影響が生じた場合は、緩和措置を講じ、影響を受けるエリアのすべての環境正義コミュニティに対して均等に実施するものである。</p>	<p>久] )、TRA-23（駐車場減少 [建設] )、LU-1（自転車計画との整合）、VA-1（Somerset Boulevardにおける遮蔽）、VA-2（「Belle」の移動）、NOI-1からNOI-8（防音壁、低衝撃フロッグ、車輪が発する高周波音のモニタリング、踏切や遮断機の警報音停止方法の変更、TPSSの騒音低減、騒音防止計画など）、VIB-1からVIB-7（バラストマットまたは弾性のあるレール留め具、低衝撃フロッグ、振動防止計画、建築基礎への衝撃装置またはドリルの使用最小化、建設工事の振動制限、建設活動のモニタリングなど）、AQ-1（自動車排出ガス）、COM-1（建設アウトリーチ計画）</p>	<p>して緩和措置TRA-1からTRA-20を実施した場合、これらは実行可能な範囲で悪影響を低減するには十分であるが、悪影響は残る。</p> <p>すべての建設代替案において、緩和措置実施後は、その他の環境正義コミュニティに対する不均衡に高く有害な影響はない。</p>

出典：Metroの代理で2021年に編集

注：CEQA = カリフォルニア州環境品質法、GHG = 温室効果ガス、NEPA = 国家環境政策法

## S.5 第4条(f)の評価

1966年米国運輸省法の第4条(f)は、公共の公園、レクリエーションエリア、国家、州もしくは地域にとって重要な野生生物や水鳥の保護区といった公有地、または国家、州もしくは地域にとって重要な史跡（公園、地区、保護区もしくは用地の管轄権を有する当局により決定される）に特別な保護を与えています（合衆国法典第49編第303条）。FTAは、（1）実現可能で賢明な代替手段が他になく、かつ（2）プロジェクトによって使用された場合にその土地に及ぶ被害を最小限に抑えるために可能なあらゆる計画が立てられていると判断しない限り、第4条(f)の土地の僅少でない使用は承認しない可能性があります（連邦規則集 [CFR] 第23巻第774.3条）。

第774.3条(a)に基づき第4条(f)を承認する前に、第4条(f)の評価を第4条(f)の資源を管轄する当局および内務省、ならびに必要に応じて農務省および住宅都市開発省に提出し、調整と論評を行うものとし（CFR第23巻第774.5条）。

管轄権を持つ当局の協議および合意がまだ成立していないことを受け、FTAは、本プロジェクトは代替案1の下では第4条(f)の保護下にある史跡4箇所、代替案2の下では史跡5箇所、代替案3の下では史跡3箇所、代替案4の下では史跡1箇所に僅少な影響が生じるという予備的な判断を下しました。すべての建設代替案は、第4条(f)に基づく保護が認められる公園1箇所に僅少な影響をもたらします。FTAはまた、第4条(f)の使用に関わる一時的占有の例外が、代替案1の下では史跡11箇所、代替2の下では史跡21箇所、代替3の下では史跡1箇所に適用されるという予備的判断を下しています。一時的占有の例外は、代替案1、2および3の下ではレクリエーショントレイル3箇所にも適用されます。代替案4の下では、一時的占有の例外はいかなる史跡にも適用されませんが、レクリエーショントレイル1箇所に適用されます。本プロジェクトのこの判断は、一時的占有の例外の適用条件を満たす所管省庁の合意待ちです。

本プロジェクトでは、第4条(f)の保護下にあるその他の土地を使用することはなく、第4条(f)の保護下にある土地の擬制的な利用もありません（Metro 2021）。FTAは、第4条(f)の保護対象となる土地に対する影響は僅少であること、または一時的占有の例外の要件を満たすことから、本プロジェクトは第4条(f)の要件を満たすと予備的に判断しています。

## S.6 代替案の評価

NEPAおよびCEQAは、EIR/EIS草稿において推奨される代替案を決定することを推奨しています。職員推奨案の決定にあたっては、目的と必要性、プロジェクトの目標、環境への影響と便益を達成する上での有効性に加え、本プロジェクトを建設、運営、維持するための財政管理能力、ならびに本プロジェクトの資金調達戦略を主に考慮しました。その結果、推奨案として選ばれたのは代替案3です。

すべての建設代替案は、信頼できる公共交通サービスを確立すること、将来の需要に対処すること、アクセスを改善すること、回廊内の公共交通機関に依存するコミュニティが直面する移動性とアクセスの制約に対処することにより、本プロジェクトの目的の4大要素を達成します（表

S.6）。代替案1および2の総資本費（それぞれ81億および88億）は、路線の距離とそこから導かれる駅の数から、代替案3および4（それぞれ44億ドルおよび19億ドル）よりも著しく高くなっています。

表S.6.代替案の便益評価

環境および社会的便益	代替案1	代替案2	代替案3	代替案4
自動車走行距離の削減（現状で本プロジェクトを実施した場合と現状の比較）	216,100 (-0.05%)	215,000 (-0.05%)	71,800 (-0.02%)	36,300 (-0.01%)
平日の1日平均利用者数（2042年）	60,839	82,826	30,964	11,119
排出ガスおよび温室効果ガスの削減	大幅な削減	大幅な削減	中等度の削減	低度の削減
コミュニティへの便益（駅から0.25マイル以内にある都市数とロサンゼルス市内のコミュニティ数 <sup>1</sup> ）	12都市（ロサンゼルス市内コミュニティ3箇所）	12都市（ロサンゼルス市内コミュニティ3箇所）	12都市（ロサンゼルス市内コミュニティ1箇所）	5都市（ロサンゼルス市内コミュニティ0箇所）
1日の新規移動回数（1マイルあたりの平均移動回数）	952	1,048	622	720
利用者便益時間 <sup>2</sup>	15,400	19,700	8,400	4,000
経済的便益 <sup>3</sup> （当該地域で創出された雇用数）	建設業700～89,800件 常用雇用245件	建設業88,100～89,800件 常用雇用282件	建設業44,000～45,700件 常用雇用189件	建設業22,400～24,000件 常用雇用113件
経済的便益（2020年）（当該地域内の1年間の経済活動によって創出される便益）	660万ドル	760万ドル	510万ドル	300万ドル
地域の移動性および接続性 <sup>4</sup>	高	高	中	低
駅から0.5マイル以内の推定居住人口 <sup>5</sup>	236,000	260,000	203,000	90,400
人口増加率（路線から0.25マイルの範囲内における2017年から2042年の増加率）	60%	75%	59%	62%
雇用成長率（路線から0.25マイルの範囲内における2017年から2042年の増加率）	32%	25%	22%	20%

出典：Metro向けに作成された資料（2021年）

注：<sup>1</sup>

この分析では、ロサンゼルス市はセントラルシティ、セントラルシティノース、およびロサンゼルス南東部コミュニティ計画エリアに分割されており、これらは影響を受けるエリア内の既存のコミュニティと見なされる。ロサンゼルス市内のコミュニティ数は表に記載のとおり。

<sup>2</sup>

利用者便益時間は1日の合計時間数で表わされる。この値は、新規利用者と既存利用者が経験する移動時間短縮およびコスト削減に基づいている。

<sup>3</sup> 記載の数値は人年数（1年間に1人につき1つの職）。

<sup>4</sup> 地域のアクセス、移動性、公共交通機関への接続性を改善するために提案された駅の数に基づく。

<sup>5</sup> 特定された居住人口は、各建設代替案の駅エリアから0.5マイル以内に位置している。

各建設代替案はさまざまな程度の影響と便益をもたらしますが、代替案3は他の建設代案と比較して、全体的に環境優位性を有しています。代替案3は、代替案1および2よりも恒久的な買収、事業の移転、騒音や振動の影響が少なく、周辺にある有害物質取扱施設の数も多くありません。代替案3では、建設によってアクセスが影響を受けるコミュニティ施設は少なく、建築材置き場も少なく済みます。また、代替案1および2と比較して、1日の地域排出量を上回ることもありません。代替案4は、接続性が欠如しており、4つの駅によって達成される便益が限定的なことから、他の建設代替案と比較して、地域にもたらされる環境便益は少なくなっています。総じて、ベルフラワーMSF用地は、パラマウントMSF用地よりも買収および事業の移転が少なく、資本費が抑えられています。

代替案3は職員推奨案として選定されており、CEQAの要件に準拠した環境に優れた代替案と見なされています。

## S.7 市民へのアウトリーチ、関係諸機関との協議および調整

Metroは、2017年に本プロジェクトに関する包括的なアウトリーチプログラムを開始しました。その一環として、Metroでは公職者や機関職員、コミュニティのステークホルダー、市民に対し、本プロジェクトの状況と環境審査プロセスの進展について継続的に報告しています。

FTAは、2017年7月26日にNEPAに従って計画通知書を連邦広報で公示しました。また、Metroは、2017年5月25日にCEQAに従って準備通知書を発行し、2017年6月14日および2018年7月11日に補足資料を発行しました。Metroは、スコーピングプロセスを通して、ESI/EIR草稿の範囲について関係諸機関と市民の意見を求めました。また、関係諸機関とのスコーピング会議を1回、公開スコーピング会議を8回開催し、公開スコーピング会議の様子はウェブキャストでライブ配信したほか、本プロジェクトのウェブサイトで録画を公開しました。

Metroは、ESI/EIR草稿の作成作業中に、市民および関係諸機関にプロジェクト情報を提供し、意見を聞く機会を設けました。また、ESI/EIR草稿を支持する連邦、州、地域の諸政府機関との会議も開催しました。Metroは、ロサンゼルス郡に伝統的な土地や文化的な場所を持つカリフォルニア州の部族を対象に、議会法案52の遵守に関する協議会を実施しました。FTAは、第106条の協議プロセスにネイティブ・アメリカンのグループを招待し、影響を受ける可能性のあるエリア内に位置する先史時代の遺跡や神聖な場所、伝統文化財の特定について情報を提供しました。Metroは、地域の諸政府機関、ならびに地域の歴史保全擁護団体や歴史擁護団体、歴史協会などの諸組織に諮問報告書を送付しました。また、2020年3月30日に文化的資源に関する最終調査報告書改訂第1版（Metro 2020d）をカリフォルニア州歴史保全局（SHPO）に提出し、適格性の判断について同意を求めたところ、SHPOからコメントや異議は寄せられませんでした。

本ESI/EIR草稿の公開後は、45日間のパブリックコメント募集期間を設けることで、草稿の審査を推進し、市民の意見を収集する予定です。また、本プロジェクトの対象エリア全域で公聴会を開催し、ESI/EIR草稿の調査結果を提示するとともに、草稿に関するパブリックコメントを募集します。

## S.8 議論対象となっている領域と解決が求められる問題

### S.8.1 議論対象となっている領域

スコーピング期間中に提出されたパブリックコメントおよび継続的なステークホルダーの調整に基づき、次の領域が議論事項や懸念事項として特定されました。

- リトルトーキョーコミュニティへの建設の影響
- 交差点における路線配置（同一平面、高架、地下）
- セリトス市内の路線配置
- 北側終点となるパーシングスクエアの路線の廃止
- 住宅物件の一部収用
- 路線および駅の安全性とセキュリティ
- 騒音や振動の影響

### S.8.2 解決が求められる問題

次の問題は、本プロジェクトの環境プロセスを進める過程で、ステークホルダーとの継続的な調整を通じて解決される見込みです。

- 地域推奨案の選定 -  
Metro理事会はEIS/EIR草稿の回覧後に地域推奨案（LPA）を選定します。選定に際しては、EIS/EIR草稿に対して一般市民と関係諸機関から寄せられた意見を考慮します。現時点では代替案3が職員推奨案として選定されています。Metro理事会による選定プロセスの一環として、LPAの段階的な実施が決定される可能性があります。これらの決定はすべて、一般市民からの意見と資金調達状況を考慮した上で行われます。
- 設計オプションの選定 -  
LPAとして代替案1を選定した場合、Metro理事会は設計オプション1（MWD）および/または設計オプション2（リトルトーキョーの追加）を本プロジェクトに含めるかどうかを決定します。選定に際しては、EIS/EIR草稿に対して一般市民から寄せられた意見を考慮します。
- MSF用地の選定 -  
LPAの選定と同時に、Metro理事会はEIS/EIRの最終版に含めるMSF用地オプションを決定します。選定に際しては、EIS/EIR草稿に対して一般市民から寄せられた意見を考慮します。現時点では、ベルフラワーMSF用地オプションが職員推奨案となっています。
- 平面交差の設計 -  
Metroは、道路と路線が同一平面で交差する箇所の設計要件を決定するため、カリフォルニア州公共事業委員会（CPUC）との調整を開始しました。調整は、本プロジェクトの環境クリアランスと設計段階を通して継続されます。最終的な決定には、CPUCからの承認が必要です。
- ユニオン・パシフィック鉄道（UP）用地内の路線設計と建設 -  
Metroは、UPの鉄道用地内に位置する本プロジェクトの部分についてUPとの調整を開始しました。調整は、新型路面電車（LRT）の路線の設計と建築限界、貨物用線路の移転、I-105をまたぐ新しい高架橋の設計、WSAB LRT線路と既存の貨物用線路の間の線路分離、施工法と段階化に焦点を当ててお

り、今後も引き続きそうする予定です。UPからの承認および／または恒久的な地役権が必要です。

- 緩和措置 – 悪影響や重大な影響を回避または最小化するために  
特定されたいくつかの緩和措置は、Metroの管轄外で実施されます。これらの緩和措置には、交通への影響を緩和するための交差点での車線変更（交差点が位置する管轄区域が対象）、本プロジェクトに抵触する自転車施設案の変更（施設建設が提案されている管轄区域が対象）、パブリックアートの彫像「Belle」の移転（ベルフラワー市が対象）、踏切や遮断機の警報音停止方法の変更（CPUCが対象）などが含まれます。これらの措置に関する調整は、諸組織との間ですでに始まっており、本プロジェクトの決定記録や決定通知書の発行まで継続されます。該当する管轄区域が緩和措置を承認しない場合、これらの影響に対する他の緩和措置は特定されていないため、悪影響や重大な影響が生じることになります。